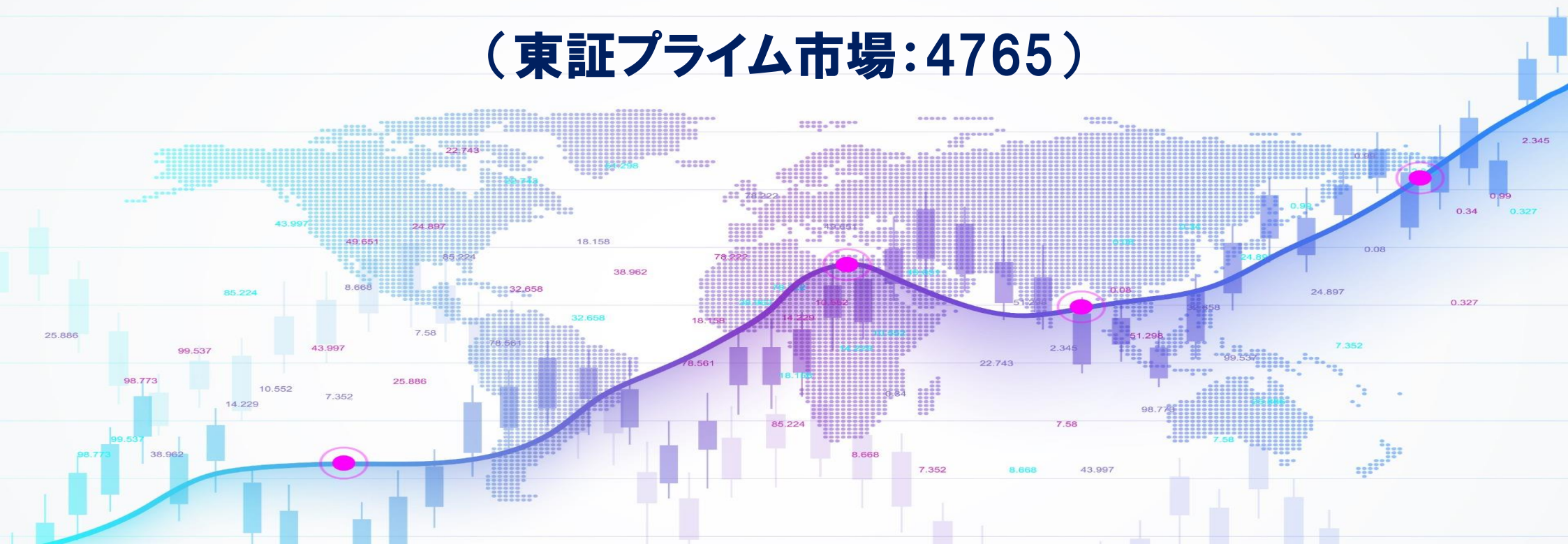


2026年3月期第3四半期決算説明会

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

(東証プライム市場:4765)



2026年1月29日
代表取締役社長 朝倉 智也

信頼が生んだ17期連続増益

2026年3月期第3四半期の連結数値

- ・ 大幅な増収・増益を達成し、売上高および全ての利益項目で過去最高を更新
- ・ 売上高は14期連続で増収、経常利益は17期連続の増益を達成

(単位:百万円)	2025年3月期 第3四半期 (2024年4月～12月)	2026年3月期 第3四半期 (2025年4月～12月)	増減率 (%)
売上高	8,562	<div>過去最高</div> <div>14期連続増収</div> 15,824	82.9
営業利益	1,808	<div>過去最高</div> 2,838	56.9
経常利益	2,064	<div>過去最高</div> <div>17期連続増益</div> 3,202	55.1
当期利益	1,300	<div>過去最高</div> 1,759	35.3

SBIグローバルアセットマネジメントの運用残高の推移

グループ運用残高は前年同期末比70%超の拡大

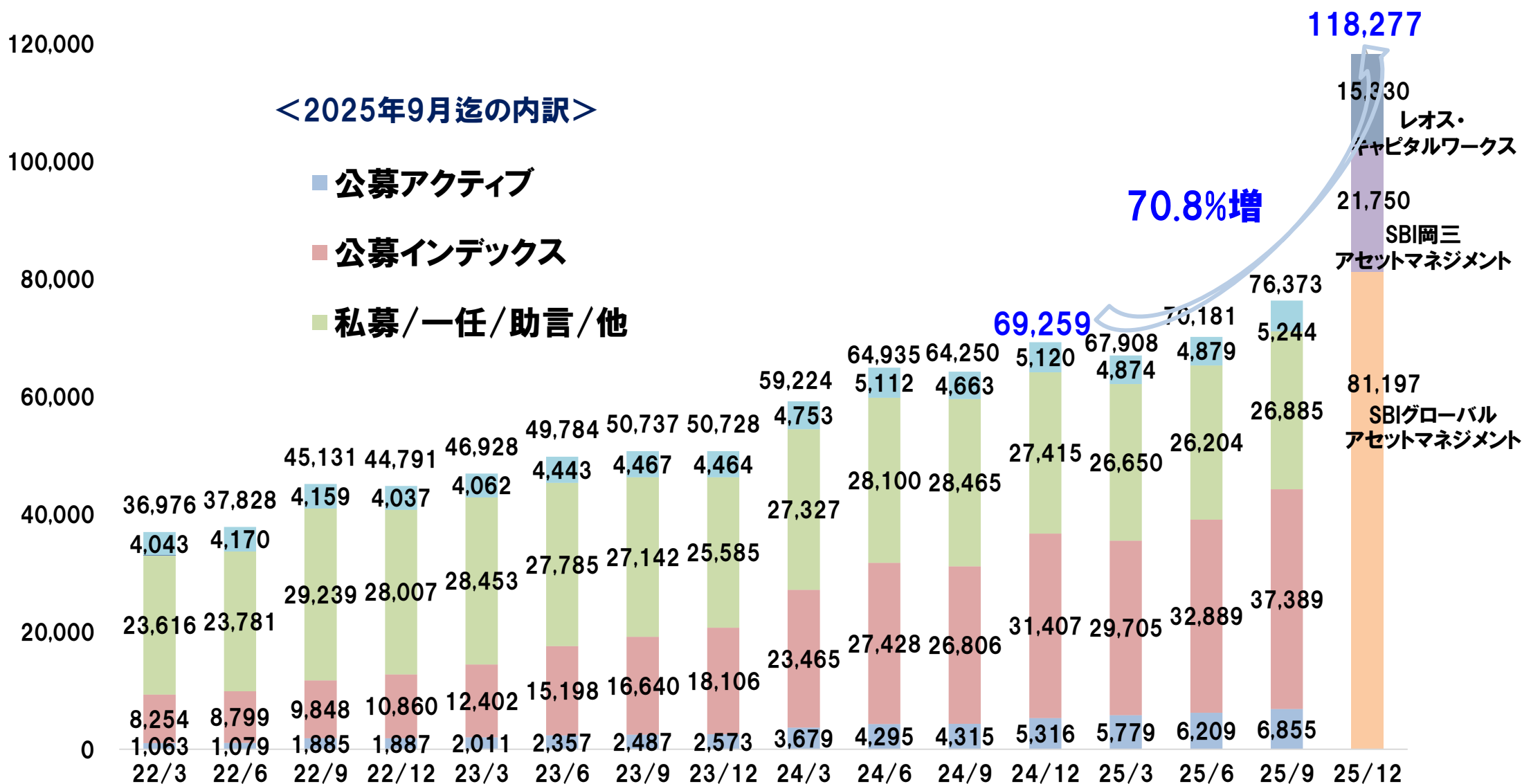
(単位:億円)

<2025年9月迄の内訳>

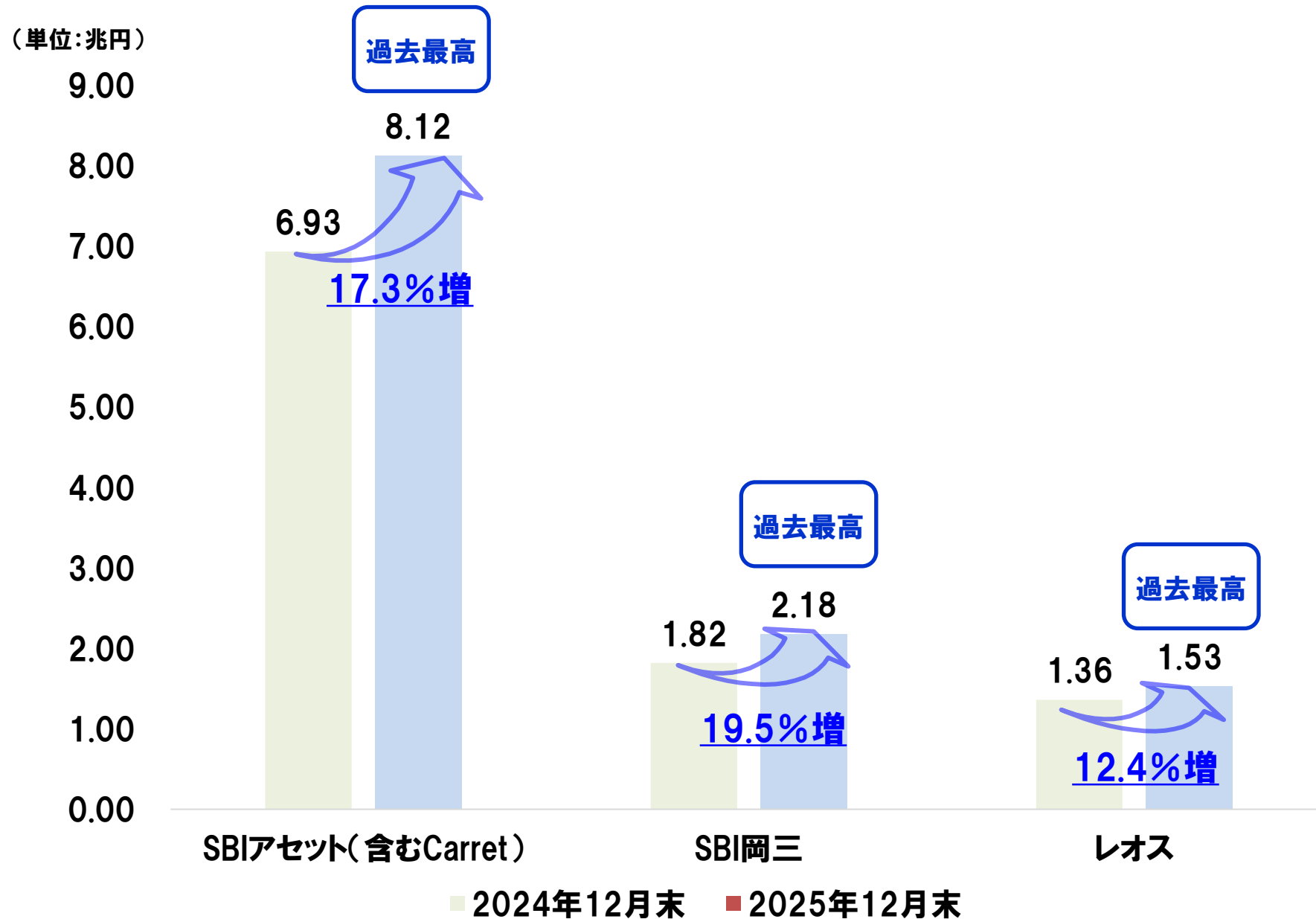
■ 公募アクティブ

■ 公募インデックス

■ 私募/一任/助言/他



国内運用会社3社の運用残高は全て 前年同期末比で二桁成長、過去最高を更新



資産運用残高の加速度的拡大と 収益力の飛躍的向上へ運用会社3社の総合力を結集



- インデックス・アクティブの両分野で、低コストかつ高品質なファンドを提供
- Vanguard(Vシリーズ)・BlackRock iShares(iシリーズ)等、
世界有数の運用力を最大限に活用
- 四半期決算型ファンドを積極展開し、多様な資産クラスを組み合わせた
毎月分配型ポートフォリオを実現



- 「ROBOPRO」「世界半導体」「次世代AI株式」など、
時代の最先端テーマ型ファンドを先駆けて投入
- グローバル運用会社との連携により、競争力ある高品質なファンドを提供
- 米ドル建てMMFの提供など、外貨建て運用においても強みを発揮

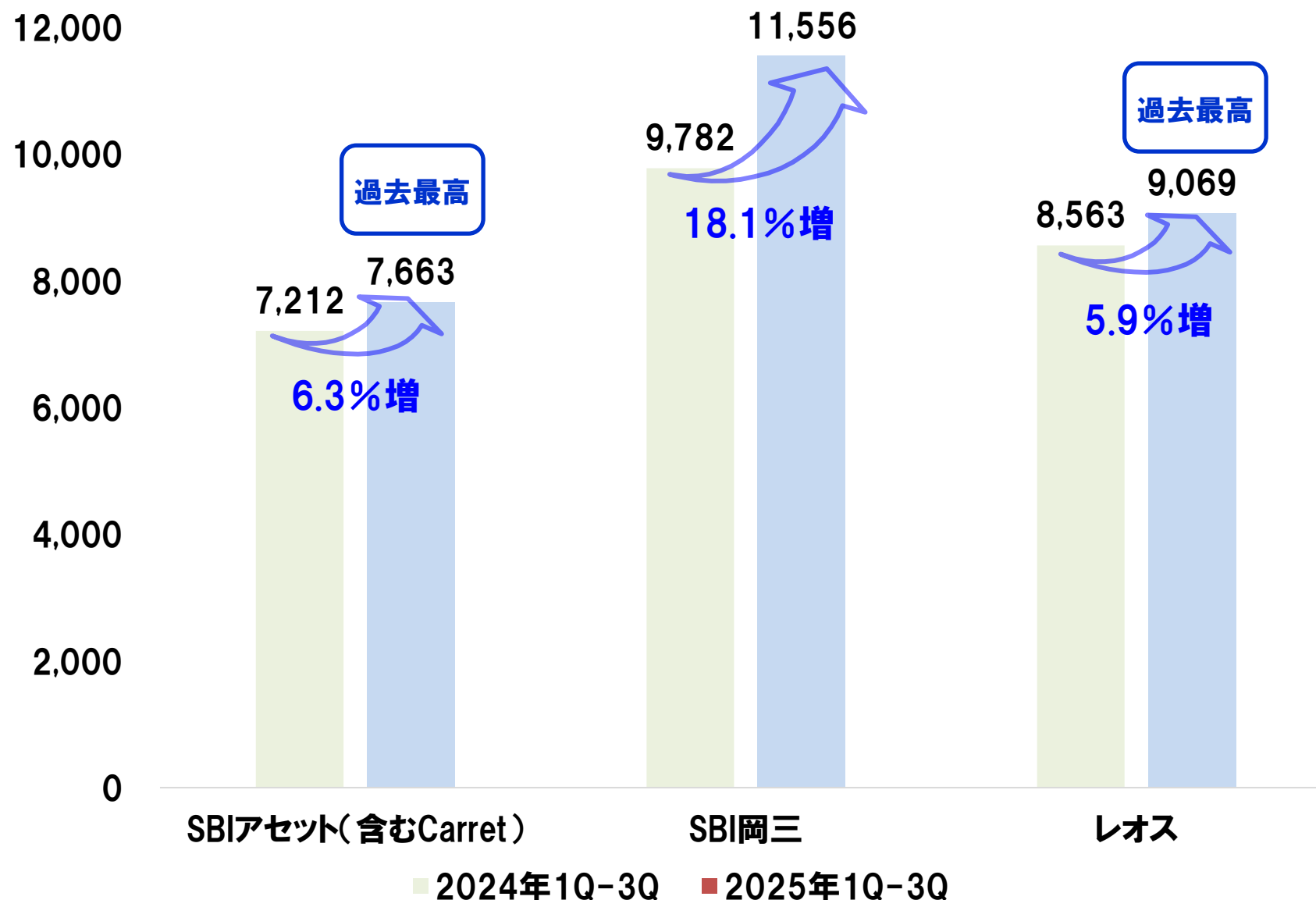


- 国内株式アクティブにおいて、業界最大のファンド運用実績
- 運用プロセスを全てインハウスで完結
- 国内初となるプライベート・エクイティ(未公開株)を組み入れた
「クロスオーバー」ファンドを設定・運用

国内運用会社3社の売上高は全社増収を達成

SBIアセット & レオスは過去最高、SBI岡三は二桁の増収

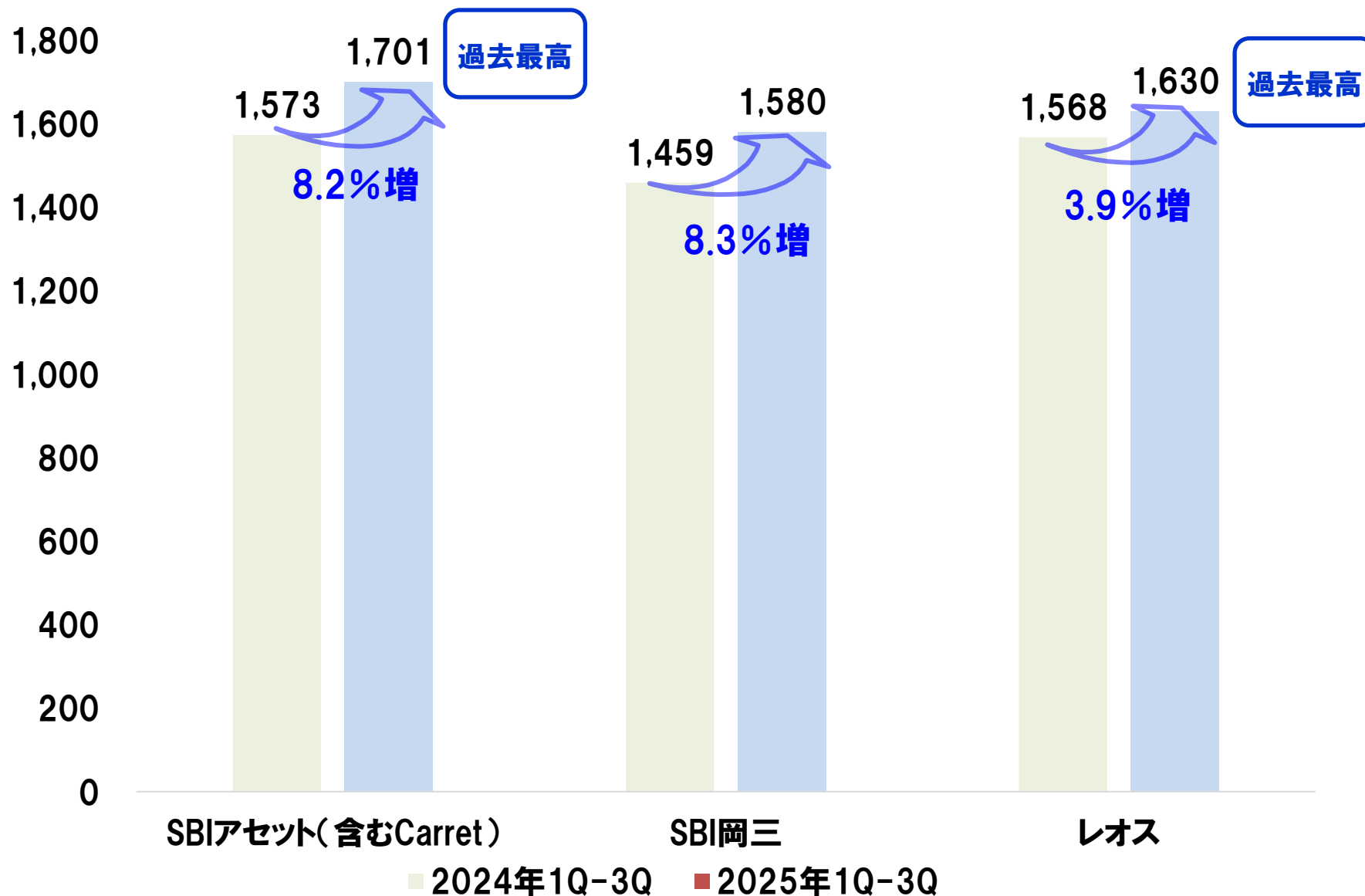
(単位:百万円)



国内運用会社3社の営業利益は全社増益を達成

SBIアセット & レオスは過去最高益を更新

(単位:百万円)



資産運用業界の成長を牽引する存在へ

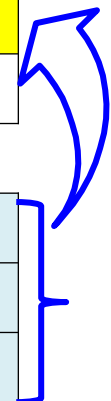
資産運用業界全体における SBIグループの純資産残高は9位に

投信会社の純資産(公募投信 & 私募投信)残高のランキング

(単位:億円)

順位	運用会社	純資産残高
1	野村アセットマネジメント	763,510
2	三菱UFJアセットマネジメント	558,638
3	大和アセットマネジメント	394,879
4	アモーヴァ・アセットマネジメント(旧日興アセット)	362,642
5	アセットマネジメントOne	224,304
6	三井住友トラスト・アセットマネジメント	170,683
7	三井住友DSアセットマネジメント	166,507
8	ブラックロック・ジャパン	147,031
9	SBIグローバルアセットマネジメント	109,755
10	インベスコアセットマネジメント	107,727

13	SBIアセットマネジメント	75,263
27	SBI岡三アセットマネジメント	20,801
28	レオス・キャピタルワークス	13,691



運用会社別の公募国内株式アクティブファンドの 純資産残高ランキング

	運用会社名	純資産残高 (億円、2025年12月末)	本数
1	野村アセットマネジメント	14,993	58
2	SBIグローバルアセットマネジメント	14,777	31
3	フィデリティ投信	10,195	14
4	三井住友DSアセットマネジメント	8,542	39
5	アセットマネジメントOne	6,243	39
6	三菱UFJアセットマネジメント	5,782	33
7	アモーヴァ・アセットマネジメント	5,132	22
8	さわかみ投信	4,729	1
9	大和アセットマネジメント	4,345	30
10	スパークス・アセット・マネジメント	3,925	8

※ 対象ファンドは除く、DC,SMA,ETF
出所:ウエルスアドバイザーの2025年12月末のデータを基にSBIアセットが作成

「ひふみプラス」は国内株式ファンドの純資産残高で最大

国内株式ファンドの純資産残高ランキング

	ファンド名	運用会社名	信託報酬 (%、税込)	純資産残高 (億円)
1	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	1.078	6,898
2	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.683	6,739
3	eMAXIS Slim国内株式 (TOPIX)	三菱UFJアセットマネジメント	0.143	5,097
4	さわかみファンド	さわかみ投信	1.100	4,667
5	ニッセイ 日経225インデックスファンド	ニッセイアセットマネジメント	0.275	3,810
6	インデックスファンド225	アモーヴァ・アセットマネジメント	0.572	3,562
7	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	0.550	3,561
8	たわらノーロード日経225	アセットマネジメントOne	0.143	3,236
9	eMAXIS Slim国内株式 (日経平均)	三菱UFJアセットマネジメント	0.143	2,829
10	スパークス・新・国際優良日本株ファンド	スパークス・アセット・マネジメント	1.804	2,802

「SBI日本高配当株ファンド」は国内株式ファンドの中で、 コスト(信託報酬)は最安

国内株式ファンドの低コストのランキング

	ファンド名	運用会社名	信託報酬 (%、税込)
1	SBI 日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	SBIアセットマネジメント	0.0990
2	SBI 日本高配当株式ファンド(年1回決算型)	SBIアセットマネジメント	0.0990
3	Tracers 日経平均高配当株50インデックス (奇数月分配型)	アモーヴァ・アセットマネジメント	0.1073
4	ステート・ストリート TOPIXインデックス・オープン	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ	0.1078
5	ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	SBIアセットマネジメント	0.1100
6	SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	0.1133
7	SBI・iシェアーズ・日経225インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	0.1133

当グループは国内株式ファンドの運用評価でNo.1

<公募の国内株式アクティブファンドの運用会社別レーティング評価>

	運用会社名	ウェルズアドバイザー (旧モーニングスター) レーティング	純資産残高 (億円)	本数
1	SBIグローバルアセットマネジメント	3.94	10,662	23
2	アセットマネジメントOne	3.42	5,353	37
3	三菱UFJアセットマネジメント	3.25	5,217	32
4	野村アセットマネジメント	3.17	11,774	53
5	アモーヴァ・アセットマネジメント	3.09	4,528	20
6	ニッセイアセットマネジメント	2.95	3,574	15
7	大和アセットマネジメント	2.90	3,451	24
8	三井住友DSアセットマネジメント	2.69	6,599	35
9	フィデリティ投信	2.40	8,963	12
10	さわかみ投信	2.00	4,508	1

※ ウェルズアドバイザーレーティング加重平均=WALレーティング*各運用会社の加重純資産残高

※ 除くインデックスファンド、DC、SMA、ETF

※ WALレーティング付与対象ファンド

※ 対象は純資産残高上位10社

出所:ウェルズアドバイザーの2025年12月末時点のデータを基に作成

SBIアセットマネジメントの公募投信の 純資金流入額上位10ファンド

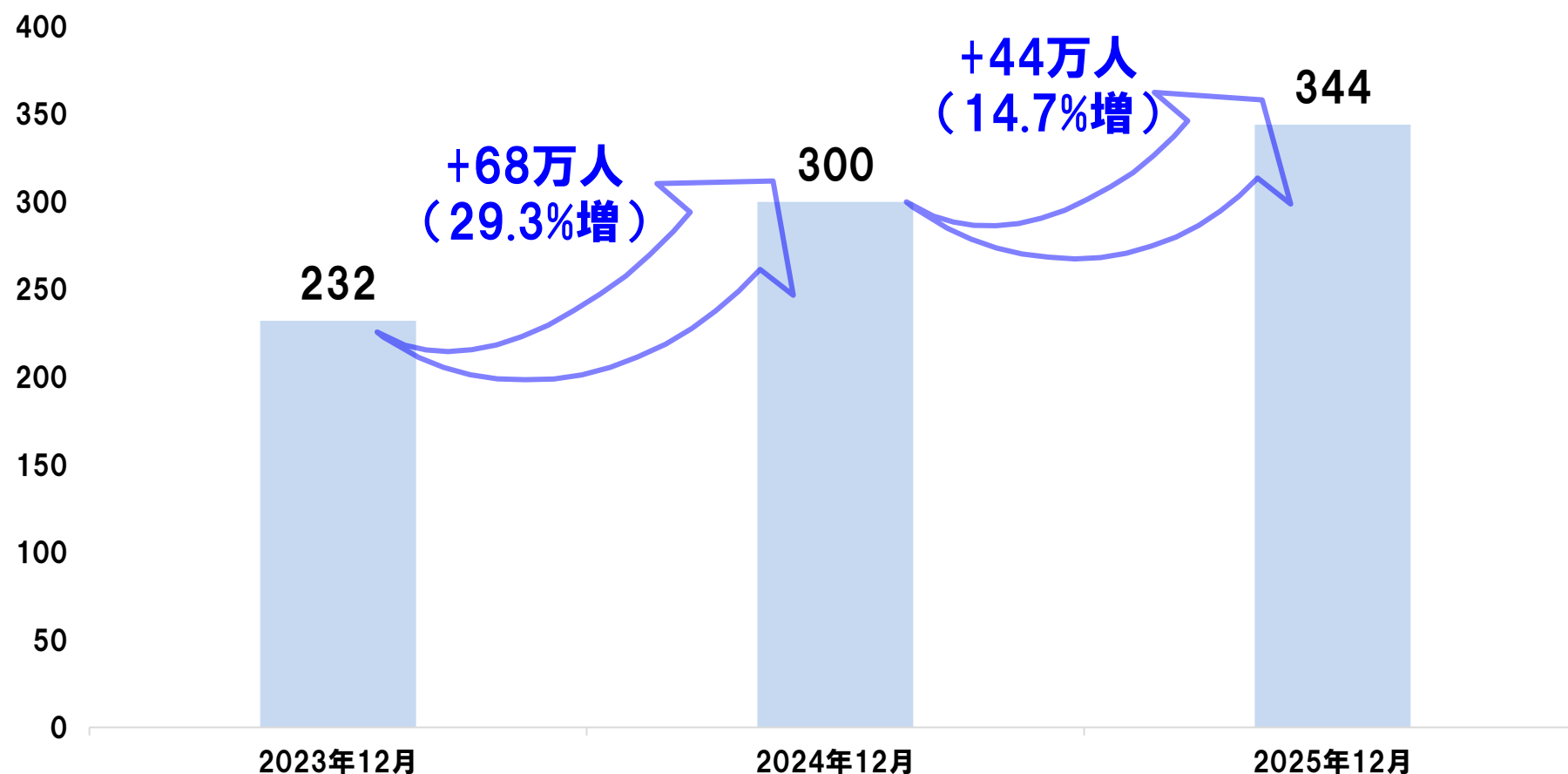
(2025年4月～12月)

	ファンド名	純資金流入額 (億円)
1	i・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)	1,168
2	SBI・V・S&P500	1,002
3	全世界株式インデックス・ファンド	294
4	S・米国高配当株式(年4回決算)	279
5	SBI 日本高配(分配)年4回	261
6	SBI 日本株3.8ベアIII	131
7	i・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)	106
8	SBI 欧州高配当株式(年4回決算)	86
9	SBI 全世界高配当(年4回決算)	54
10	ネクスト・フロンティア高配当(年4回決算)	48

SBIアセットマネジメントの公募投信の受益者数は 毎年二桁増の拡大を継続

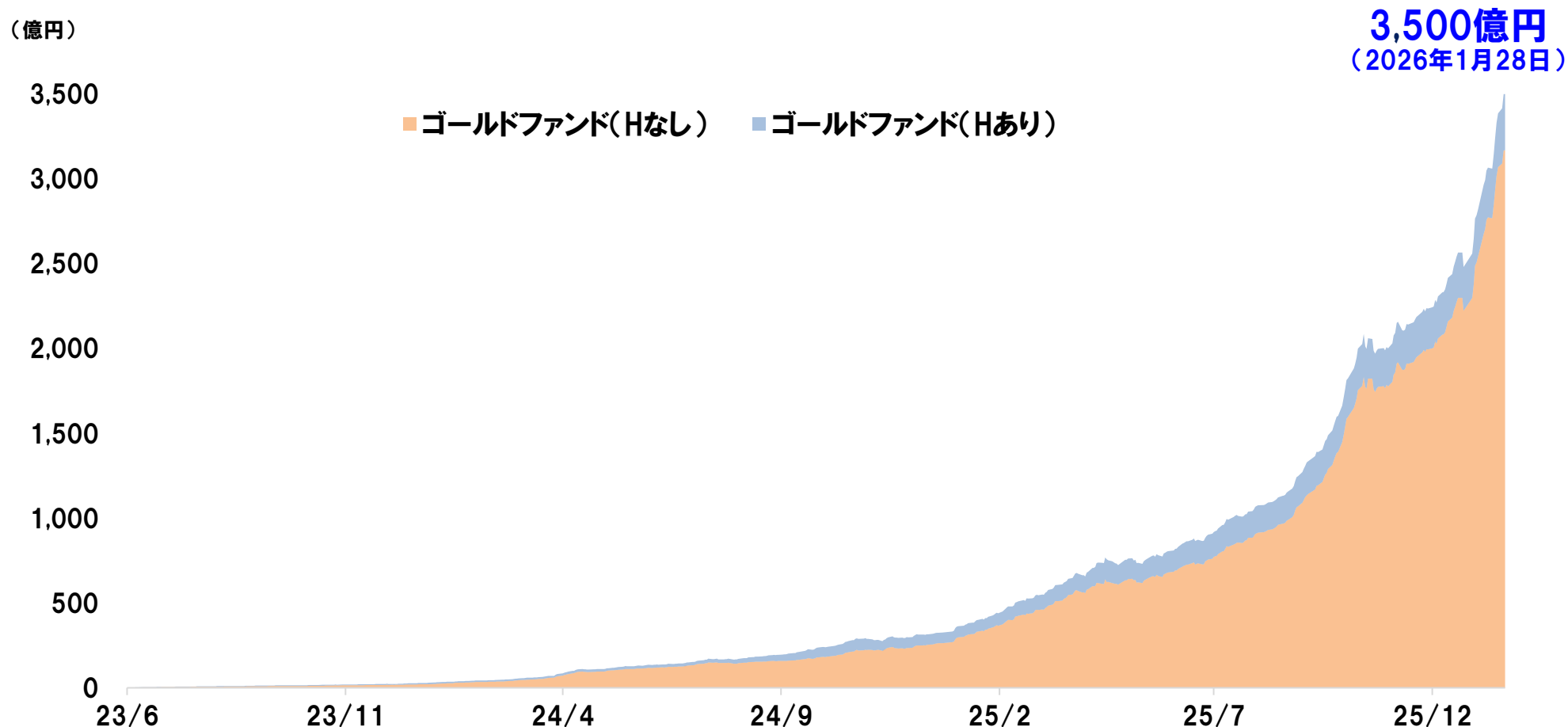
(単位:万人)

公募ファンド受益者数



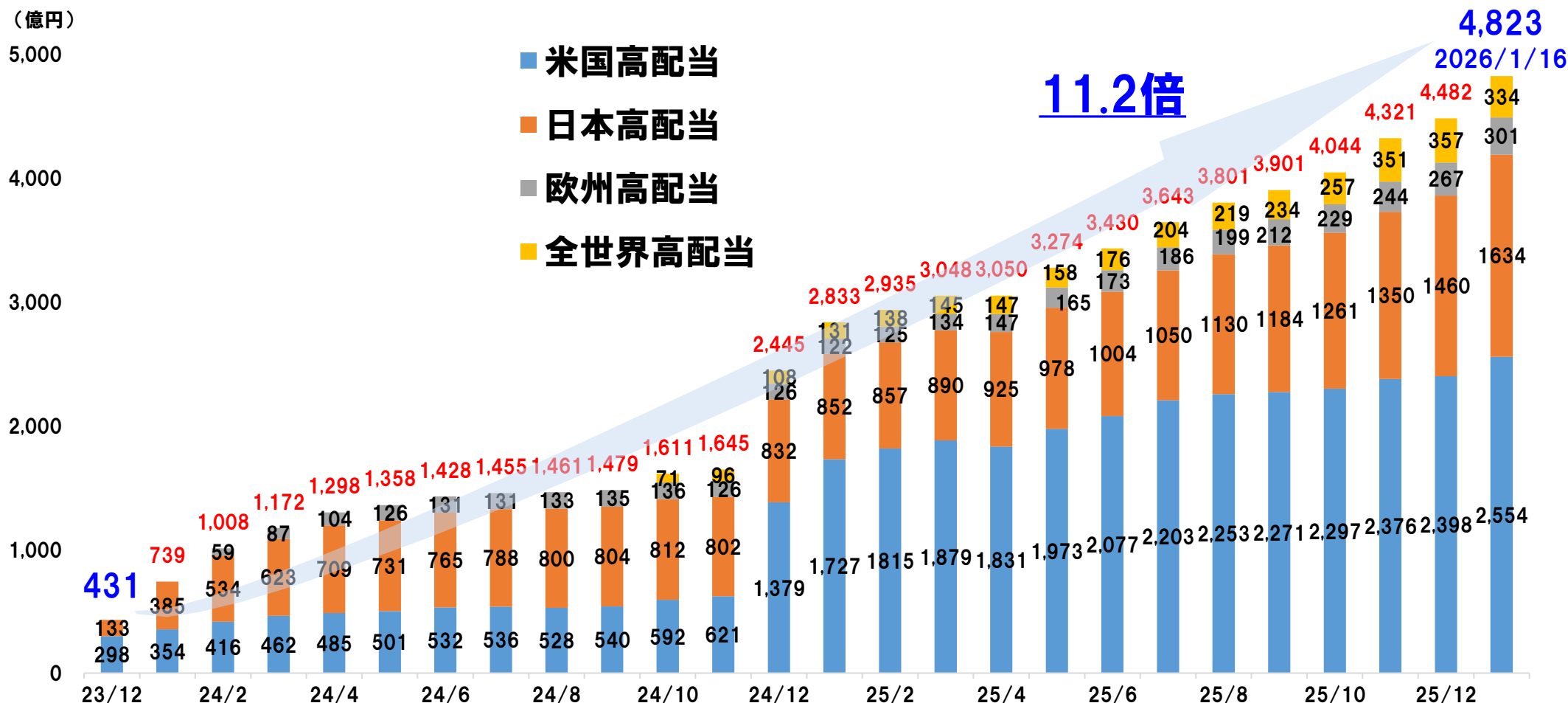
『SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド』の純資産残高の推移

- ・ファンド設定から2年半で純資産残高は3,500億円突破
- ・3,000億円突破からわずか9日間で、500億円超の増加
- ・信託報酬:0.1838%は同種同等ファンドの中で最安



人気を博するSBIアセットの『高配当株式ファンド』

「高配当株式ファンド」の純資産残高は、
本シリーズファンドを始めた日から2年で11倍超に拡大



※ 「米国高配当株式」は、「SBI・S・米国高配当株式100(年1回)」、「SBI・S・米国高配当株式100(年4回)」、「SBI・V・米国高配当株式(年1回)」、「SBI・V・米国高配当株式(年4回)」、「SBI・V・米国増配株式(年1回)」、「SBI・V・米国増配株式(年4回)」、「SBI・SPDR・S&P500高配当株式(年4回)」の7ファンド合計

※ 「全世界高配当株」は、「SBI全世界高配当株式ファンド(年1回)」、「SBI全世界高配当株式ファンド(年4回)」、「SBIネクスト・フロンティア高配当株式ファンド(年4回決算型)」の3ファンド合計

四半期決算型の「高配当ファンド」の豊富な品揃え

<1月・4月・7月・10月>

SBI 日本高配当株式(分配)ファンド

SBI 日本国債(分配)ファンド

SBI・米国REITファンド

SBI オルタナティブ・ハインカム・セレクト・ファンド

(3月・6月・9月・12月)

SBI 欧州高配当株式(分配)ファンド

<2月・5月・8月・11月>

SBI 全世界高配当
株式ファンド

SBI・V・米国高配当株式
インデックス・ファンド

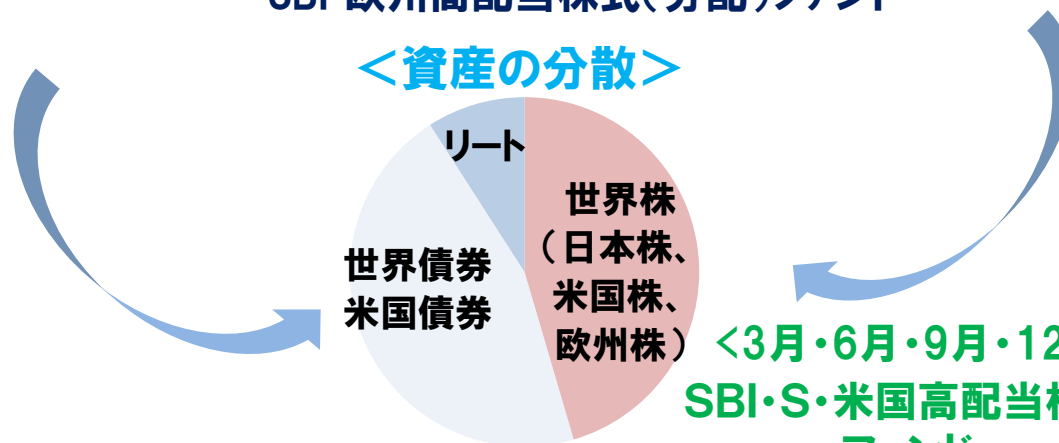
SBI・V・米国増配株式
インデックス・ファンド

SBI・SPDR・S&P500
高配当株式
インデックス・ファンド

SBI・J-REIT(分配)ファンド

SBIネクスト・フロンティア
高配当株式ファンド

<資産の分散>



<3月・6月・9月・12月>

SBI・iシェアーズ・全世界債券
インデックス・ファンド

SBI・iシェアーズ・米国総合債券
インデックス・ファンド

SBI・iシェアーズ・米国
投資適格社債(1-5年)
インデックス・ファンド

SBI・iシェアーズ・
米国ハイイールド債券
インデックス・ファンド

<3月・6月・9月・12月>
SBI・S・米国高配当株式
ファンド

<分配金受取タイミングの分散>

オルタナティブ ハインカム	ネクスト フロンティア株	SCHD 米国株	オルタナティブ ハインカム	ネクスト フロンティア株	SCHD 米国株	オルタナティブ ハインカム	ネクスト フロンティア株	SCHD 米国株	オルタナティブ ハインカム	ネクスト フロンティア株	SCHD 米国株
US-REIT	J-REIT	世界債券	US-REIT	J-REIT	世界債券	US-REIT	J-REIT	世界債券	US-REIT	J-REIT	世界債券
日本国債	米国株	米国債	日本国債	米国株	米国債	日本国債	米国株	米国債	日本国債	米国株	米国債
日本株	世界株	欧州株	日本株	世界株	欧州株	日本株	世界株	欧州株	日本株	世界株	欧州株
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

※全て年4回決算型(ファンド名の(年4回決算型)は省略)

SBI岡三アセットマネジメントの公募投信の 純資金流入額上位10ファンド (2025年4月～12月)

	ファンド名称	純資金流入額 (億円)
1	ROBOPROファンド	1,694
2	次世代AI株式戦略ファンド	619
3	ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド	150
4	ゴールドマン・サックス社債／ROBOPRO戦略ファンド	96
5	日本ニューテクノロジー・オープン	51
6	インド・イノベーション・フォーカスファンド	50
7	米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)	38
8	オール・カントリー好配当リバランスオープン(年4回決算型)	15
9	米国マイクロキャップ株式ファンド	14
10	日本株式・Jリートバランスファンド	5

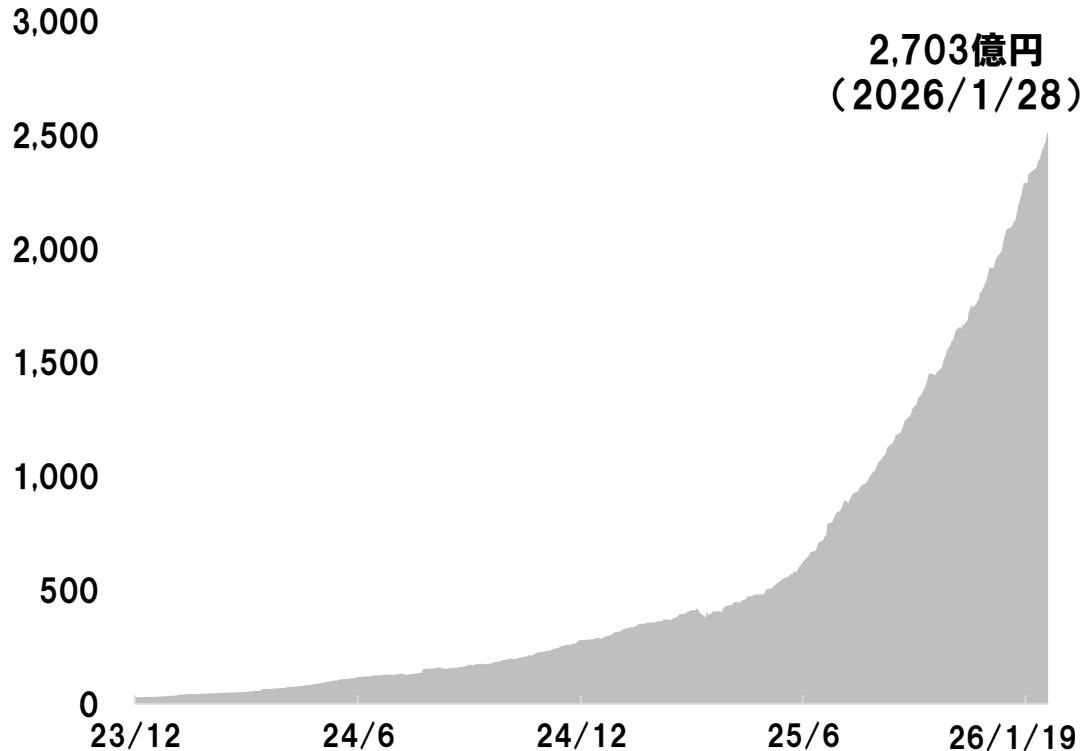
AI運用の「ROBOPROファンド」の躍進

圧倒的なパフォーマンスを誇るAI運用が市場をリード

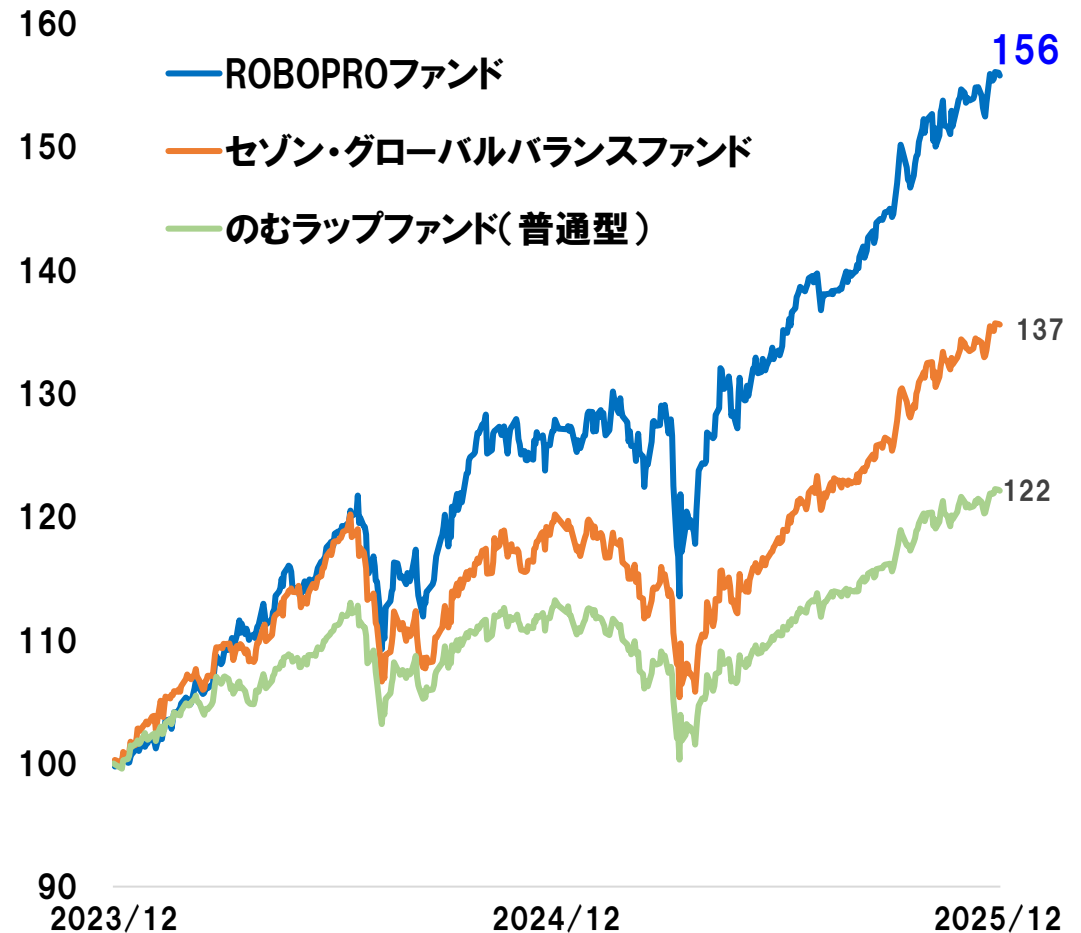
設定から約2年で
純資産2,700億円を突破

■ 純資産総額の推移

(単位:億円)



設定来のトータルリターンは56%



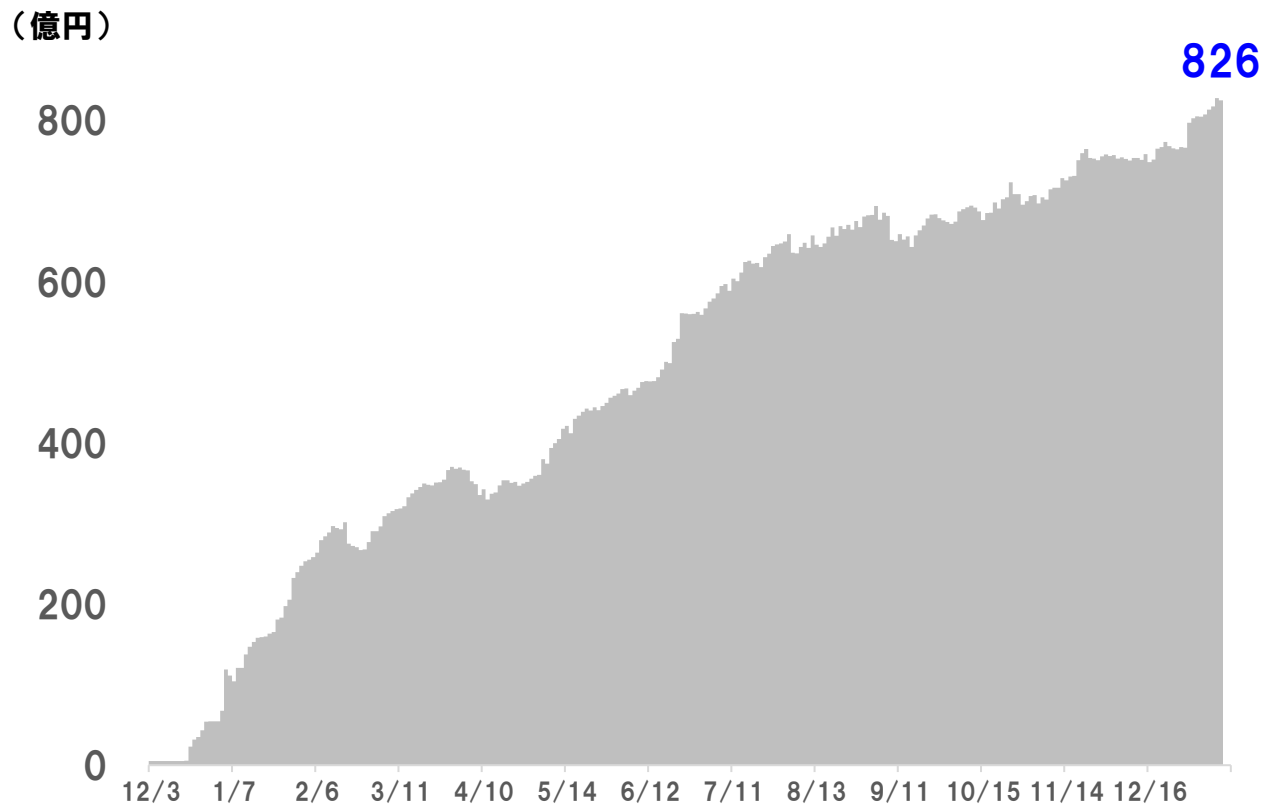
※期間:2023年12月28日(当ファンド設定日)~2025年9月末現在

※設定来トータルリターン:分配金再投資基準価額ベース

※期間:2023年12月28日(当ファンド設定日)~2026年1月19日

業界最高利回りのSBI岡三アセットの 「外貨建MMF(米ドル)」は設定から1年で800億円突破

<運用残高推移>



<運用利回り>

運用会社	利回り(%)
SBI岡三アセット	3.43
ブラックロック	3.25
ゴールドマンサックス	3.20
ニッコウ	3.17
ノムラ・グローバル	3.13

※ 運用残高:2024年12月3日(当ファンド設定日)～2026年1月15日

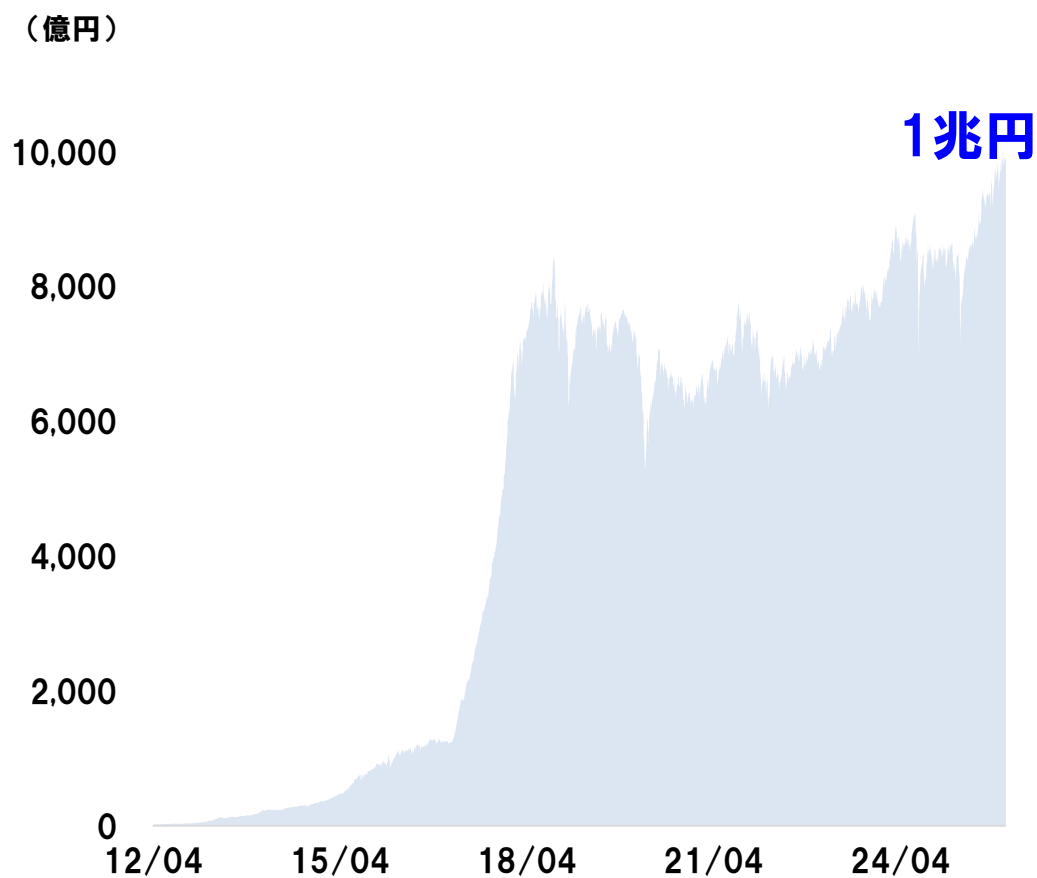
※ 利回りは、直近7日間(計算期間:2026/1/10～2026/1/16)の運用実績の年換算利回り(税引前)

レオス・キャピタルワークスの公募投信の 純資金流入額の順位 (2025年4月～12月)

	ファンド名称	純流入額 (億円)
1	ひふみクロスオーバーpro	91
2	ひふみ年金	32
3	ひふみワールド年金	4.7
4	ひふみらいと	-3.1
5	まるごとひふみ15	-9.5
6	ひふみマイクロスコープpro	-17.4
7	ひふみワールド	-17.9
8	まるごとひふみ50	-40.7
9	まるごとひふみ100	-48.6
10	ひふみ投信	-81.8
11	ひふみワールド+	-228.5
12	ひふみプラス	-270.5

「ひふみ投信」のマザーファンドは純資産残高1兆円突破

ひふみ投信マザーファンドの純資産残高



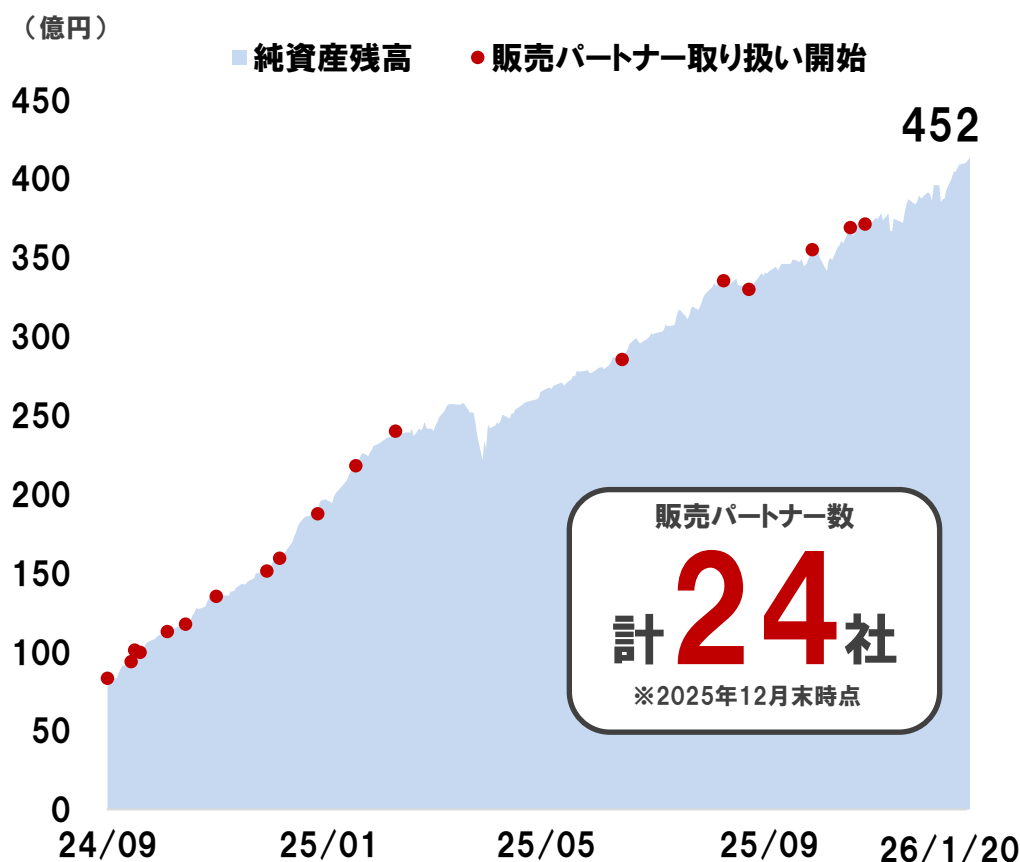
ひふみ投信マザーファンド投資先

No.	銘柄名	銘柄コード	比率
1	伊藤忠商事	8001	5.04%
2	フジ・メディア・ホールディングス	4676	4.49%
3	トヨタ自動車	7203	4.24%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	3.49%
5	ソニーグループ	6758	3.37%
6	丸紅	8002	3.26%
7	富士通	6702	3.10%
8	三菱地所	8802	2.67%
9	みずほフィナンシャルグループ	8411	2.63%
10	日本電気	6701	2.60%

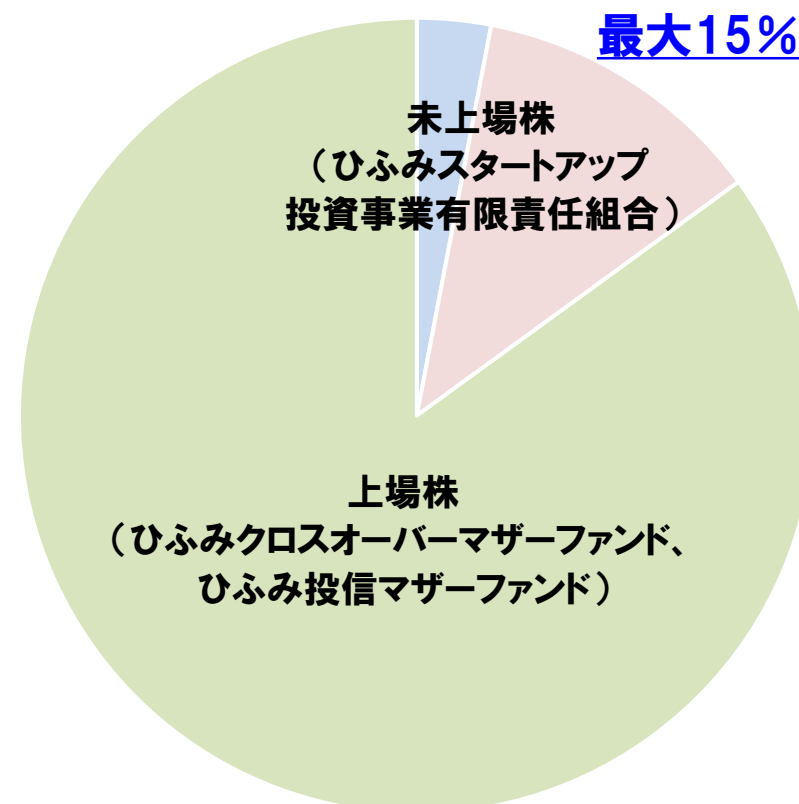
「ひふみクロスオーバーpro」の純資産残高は450億円突破

- ・日本初、NISAで上場株と未上場株に投資出来る投資信託として2024年9月に運用開始
- ・純資産残高は設定後1年余りで**450億円突破**。販売会社は地方銀行中心に**24社**
- ・4社の未上場企業への投資を実施。**最大15%**組み入れへ

純資産残高と販売パートナーの推移



運用ポートフォリオ





「ROBOPROファンド」と「ひふみ投信」が 「個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year 2025」で同時受賞

部門	順位	ファンド名	運用会社
アクティブ 投資信託 部門	第3位	ROBOPROファンド	SBI岡三アセットマネジメント
	第4位	ひふみ投信	レオス・キャピタルワークス

- 「個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year 2025」
- ・投資家にとって本当によいと思える投資信託を選んで表彰
 - ・インデックス型とアクティブ型、それぞれ最大3本まで投票

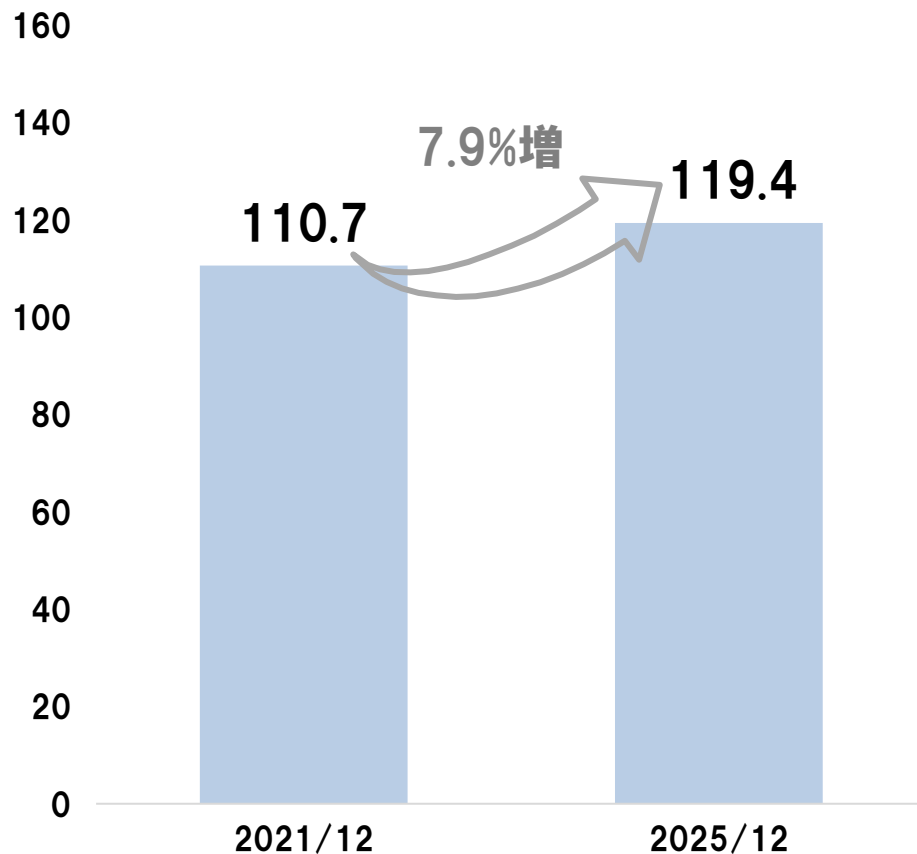
グループ3社の私募投信の運用残高

債券中心の機関投資家の運用において、
コロナ明け後の金利上昇の厳しい局面でも運用残高を拡大

<2021年12月末～2025年12月末(過去4年)>

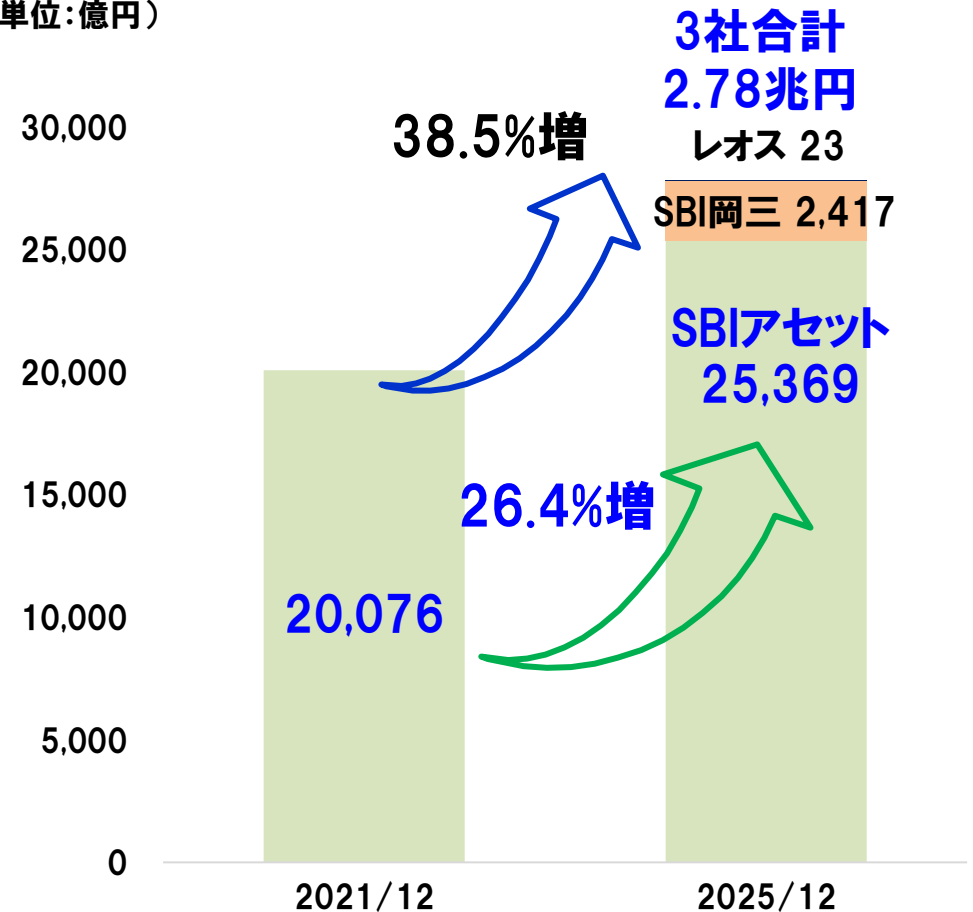
<投信業界全体の私募投信残高>

(単位:兆円)



<グループ3社の合計私募投信残高>

(単位:億円)



出所:「投信業界全体の私募投信残高」は投資信託協会

※ 2021年12月は旧SBIアセットの私募投信残高、2025年12月はSBIアセット、SBI岡三、レオスの私募投信残高

JVパートナーの運用力をプロダクトへ

SBIグループ横断の緊密連携とJVパートナー共創で 次世代運用モデルを構築し、革新的プロダクトを創造する



<伝統的資産:JV>

株式のアクティブ運用



ALLIANCEBERNSTEIN®

債券のアクティブ運用

PIMCO

<オルタナティブ:JV>

オルタナティブ戦略

オルタナティブ資産

デジタル資産



KKR



株式・債券等のインデックス運用
「業務提携」



iShares®
by BlackRock

SBI Global Asset Management

SBI Asset Management

SBI 岡三アセットマネジメント

RHEOS CAPITAL WORKS

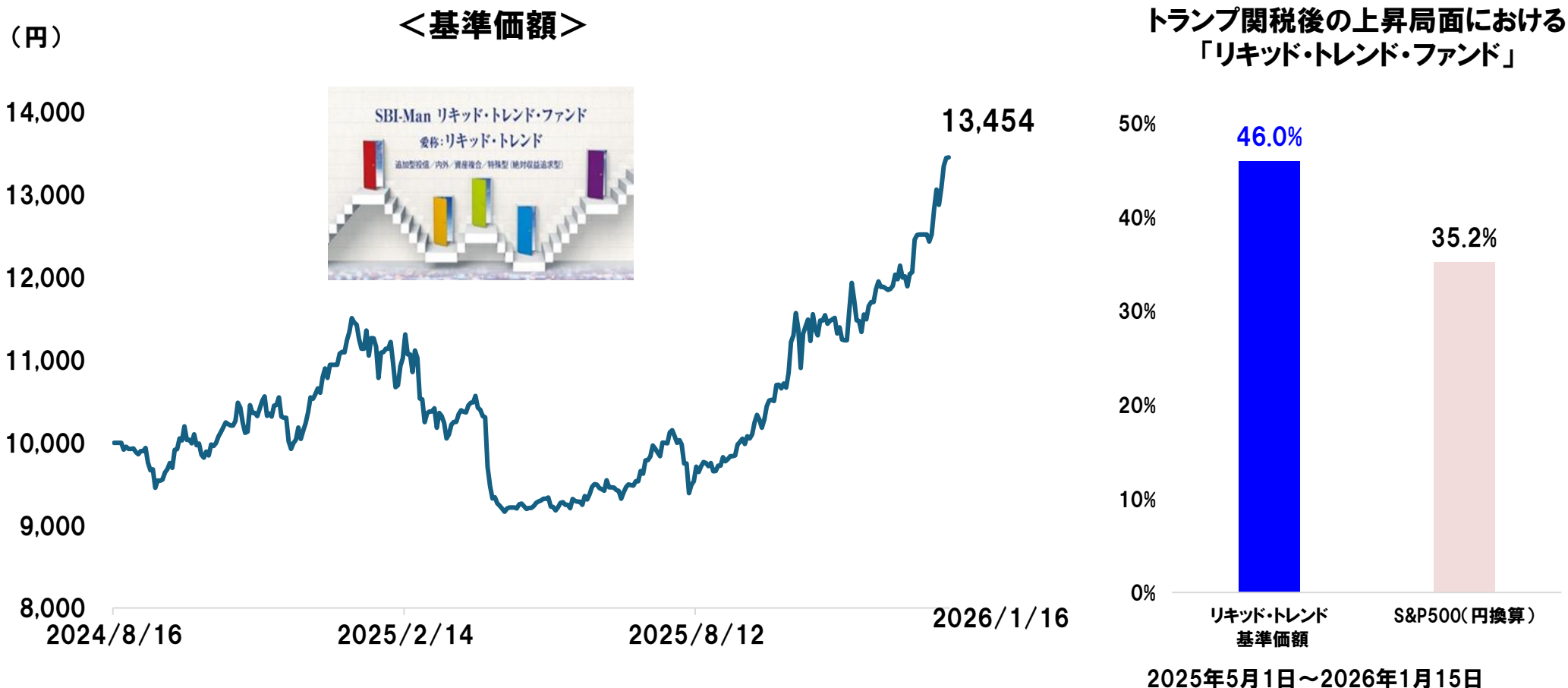
CARRET
Asset Management

「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」

下落局面でのクライシス α に加えて、株式の上昇局面でも相場に追随

世界最大級の上場ヘッジファンド運用会社 英国Man Groupとの合併

投資対象：26の債券・金利、通貨、株式、商品に分散投資

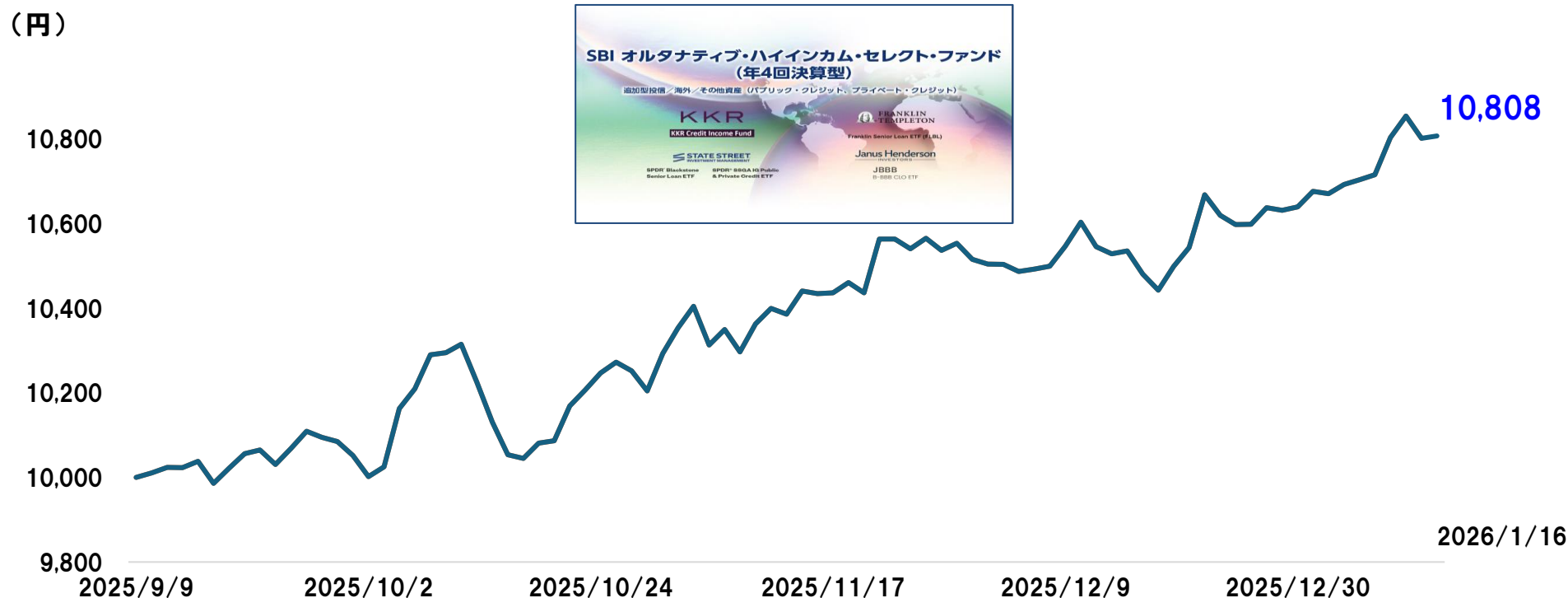


『SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)』の良好なパフォーマンス

世界有数のオルタナティブ資産運用会社 KKR との合併

投資対象：欧米のプライベート・クレジット(ローン)とパブリック・クレジット(CLO、バンクローン等)

<基準価額>



世界有数の運用会社フランクリン・テンプルトンとの合併は 「デジタル・ETF・オルタナティブ資産」の商品提供へ

金商法改正・税制改正と同時に暗号資産ETFの設定

「暗号資産ETF」設定前の商品展開

2024年10月：フランクリン・テンプルトンが運用する海外ETFを包む
「SBI-フランクリン・テンプルトン・インド株式インデックス・ファンド」の提供開始



今後は、フランクリン・テンプルトンが既に海外で展開している
多様なETFやプライベートクレジット等の商品を提供

成長はここから加速する
－「次世代運用グループ」確立へ－

他社と一線を画す「次世代運用グループ」の確立

「国内オーガニック成長」・「ETF・オルタナティブ・デジタル資産への展開」・「海外資産の獲得」により成長を加速

1) 国内運用会社3社のオーガニック成長を加速させると同時に、他の運用会社の受け皿となるアウトソーシング機能を強化し、国内運用残高の拡大につなげる。



2) ETF・オルタナティブといった成長分野を起点に、暗号資産やオンチェーン化を含むデジタル資産領域へ運用商品の幅を拡げ、次世代の資産運用ビジネスを確立する。

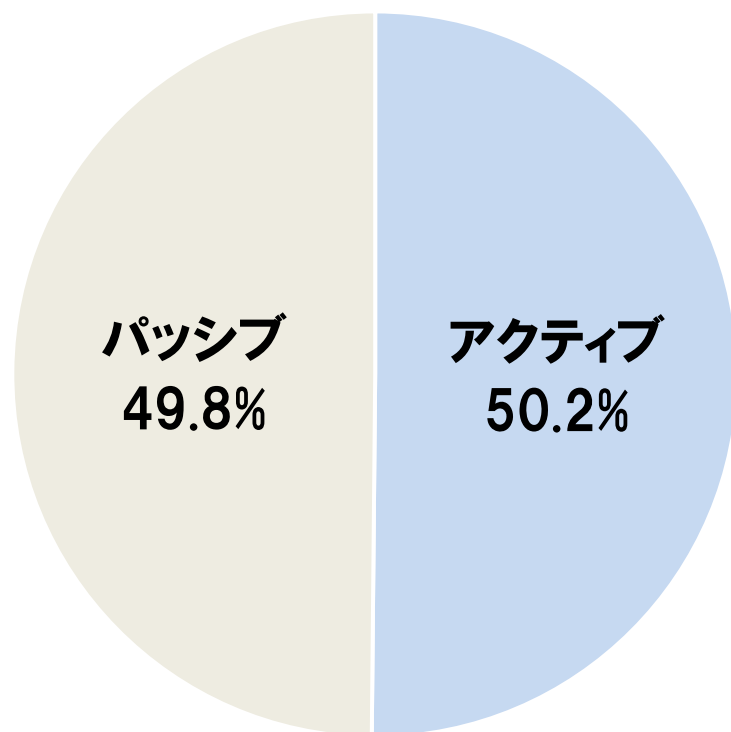


3) 海外機関投資家からの運用受託を積み上げ、さらに海外資産運用会社の買収を通じて海外資産の獲得を加速させる。

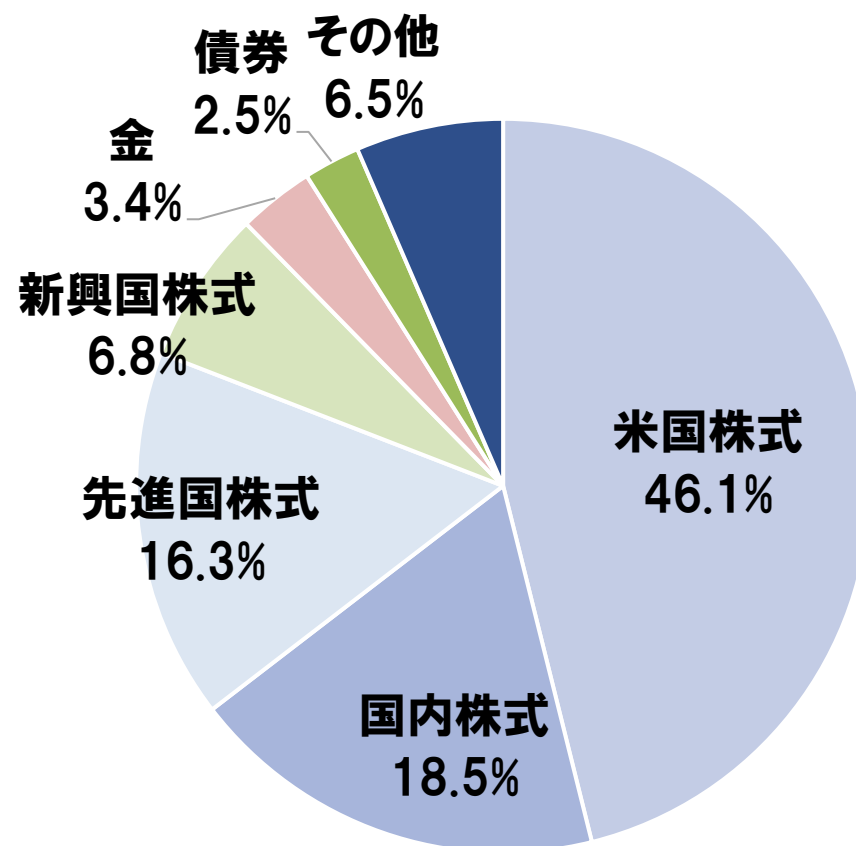
3社連携が可能にする、顧客本位のアセットアロケーション

3社の公募投信の投資対象の内訳

＜アクティブとパッシブの比率＞



＜資産構成比率＞



公募投信における3社の多様な販売チャネル

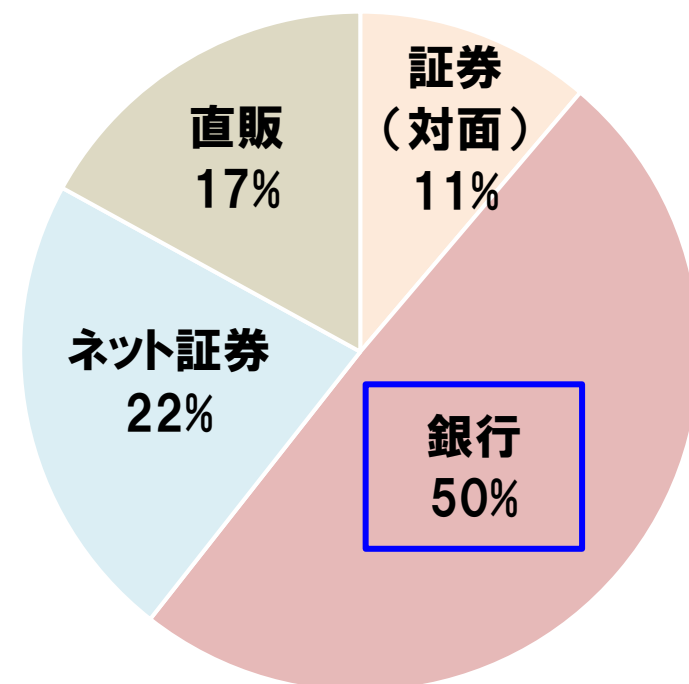
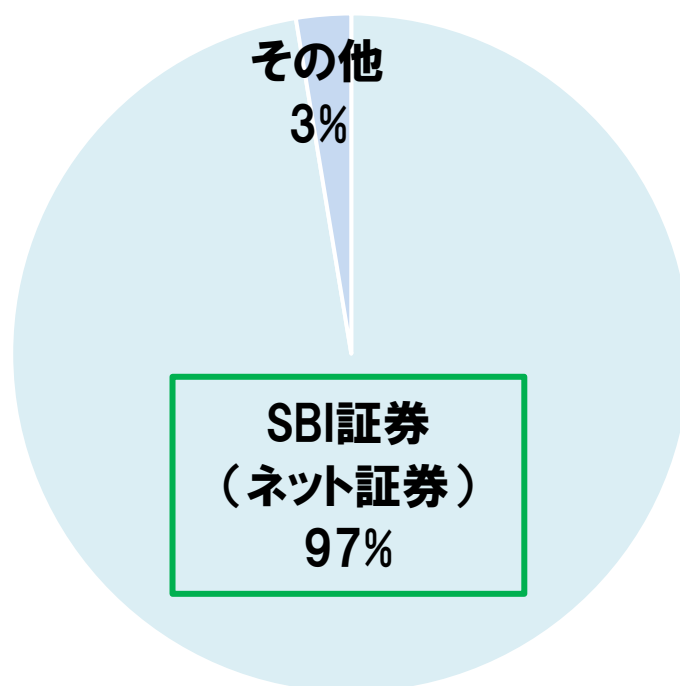
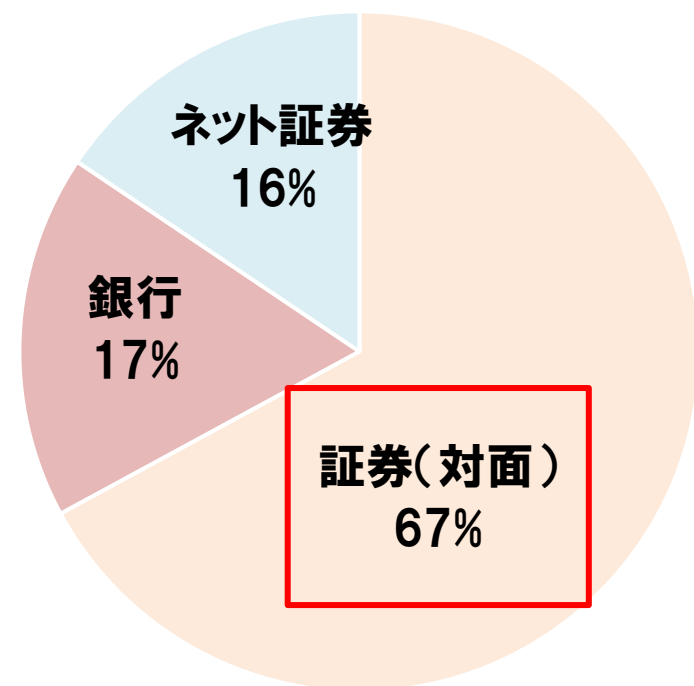
販売チャネルの多様化により、様々な顧客層へのアプローチが可能

＜公募投信の資金流入額の販売会社別構成比＞

SBI 岡三アセットマネジメント

SBI Asset Management

RHEOS CAPITAL WORKS

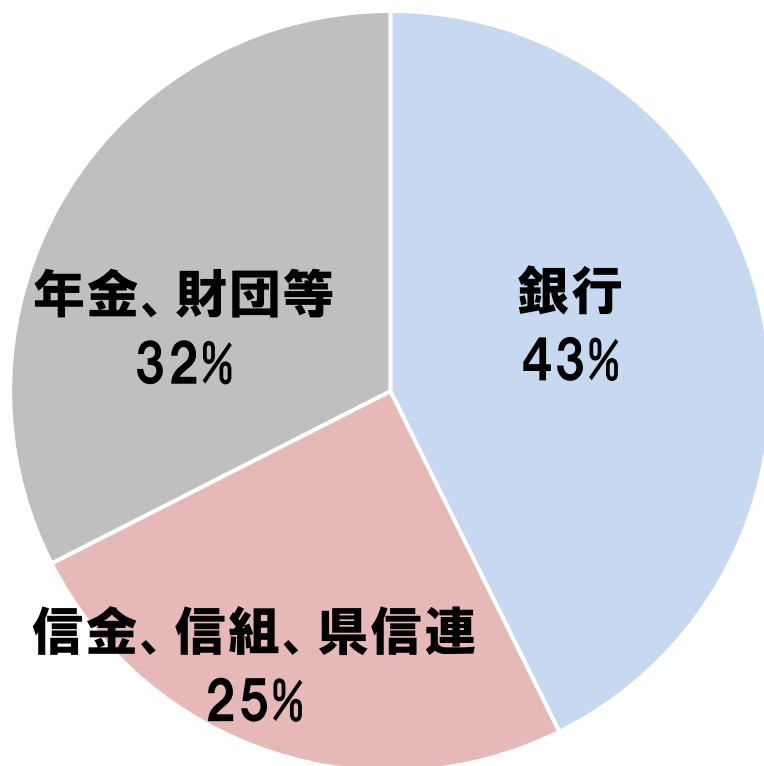


※ 2025年4～12月の純資金流出入額より作成

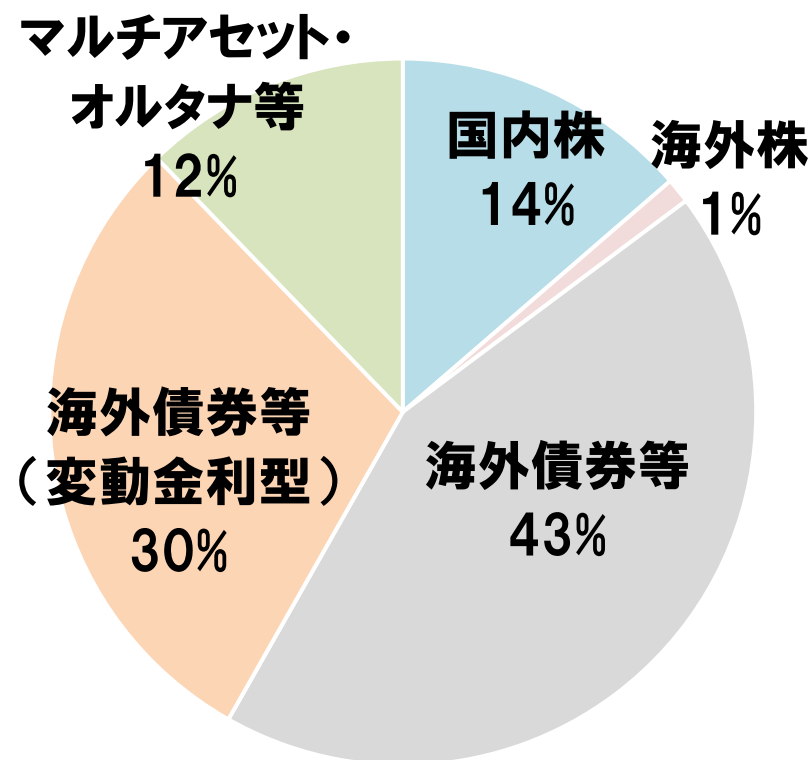
出所: SBIアセットマネジメント、SBI岡三アセットマネジメント、レオス・キャピタルワークス

3社で築く機関投資家向けアセットアロケーションの基盤

私募ファンド受託 **157社** の投資家別構成比



私募ファンドの受託資産の構成比



運用会社3社による業務連携の推進 ミドル・バックオフィス業務の共通化・統合・効率化に向けて

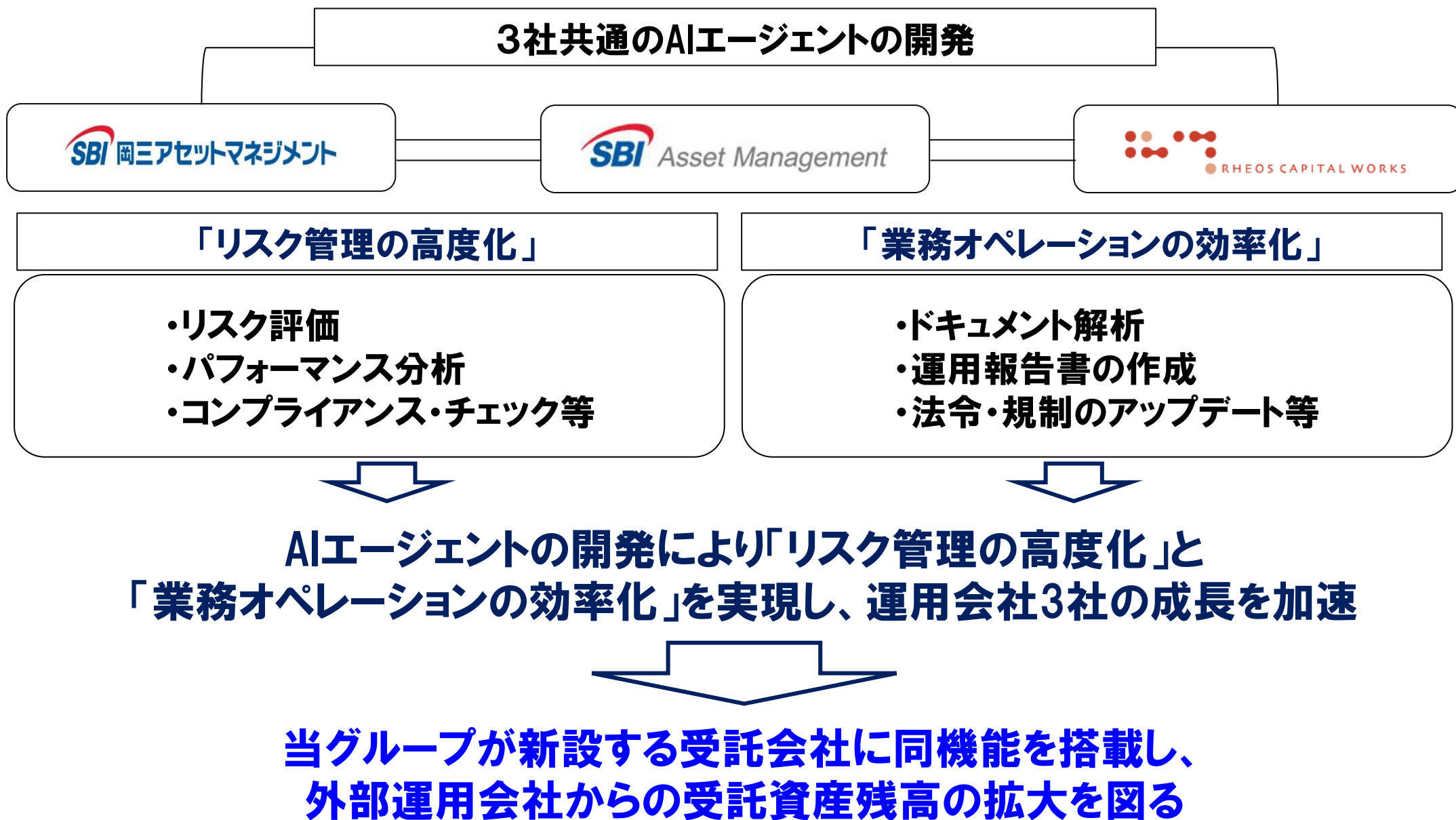


- ・投信計理、リスク管理、コンプライアンスなどの業務プロセスを標準化
- ・総務・経理・システム等のインフラを統合し、共通基盤を構築
- ・人員の最適配置と業務効率化を図るため、業務受託会社の設立を検討



当グループ外の運用会社への支援を通じ、業界全体の生産性向上に貢献

AIエージェントによるリスク管理の高度化・業務効率化の推進



① 国内オーガニック成長

資産運用ツールと投資教育の支援で受託資産の拡大を加速



(旧:モーニングスター事業)

<資産運用関連アドバイスツール、販売員研修およびセミナー>

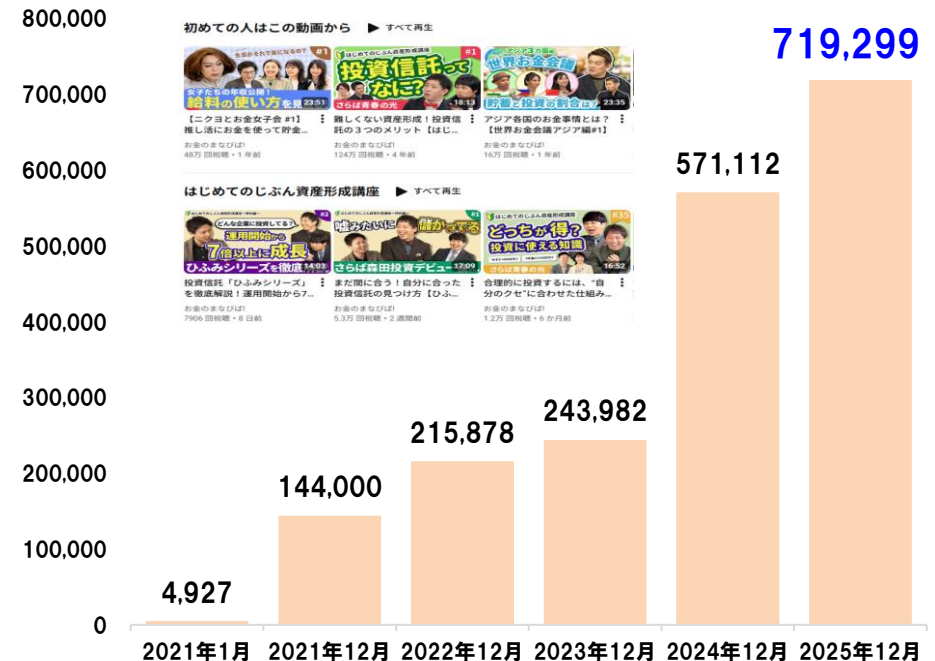
- ・地方銀行 : 全61行 → 取引先51行
- ・第二地方銀行 : 全35行 → 取引先32行
- ・信用金庫 : 全254金庫 → 取引先61金庫
- ・労働金庫 : 全13金庫 → 取引先13金庫

- ① コンサルタント向けAIエージェント
- ② 個人投資家向けAIエージェント



(単位:人)

チャンネル登録者数の推移

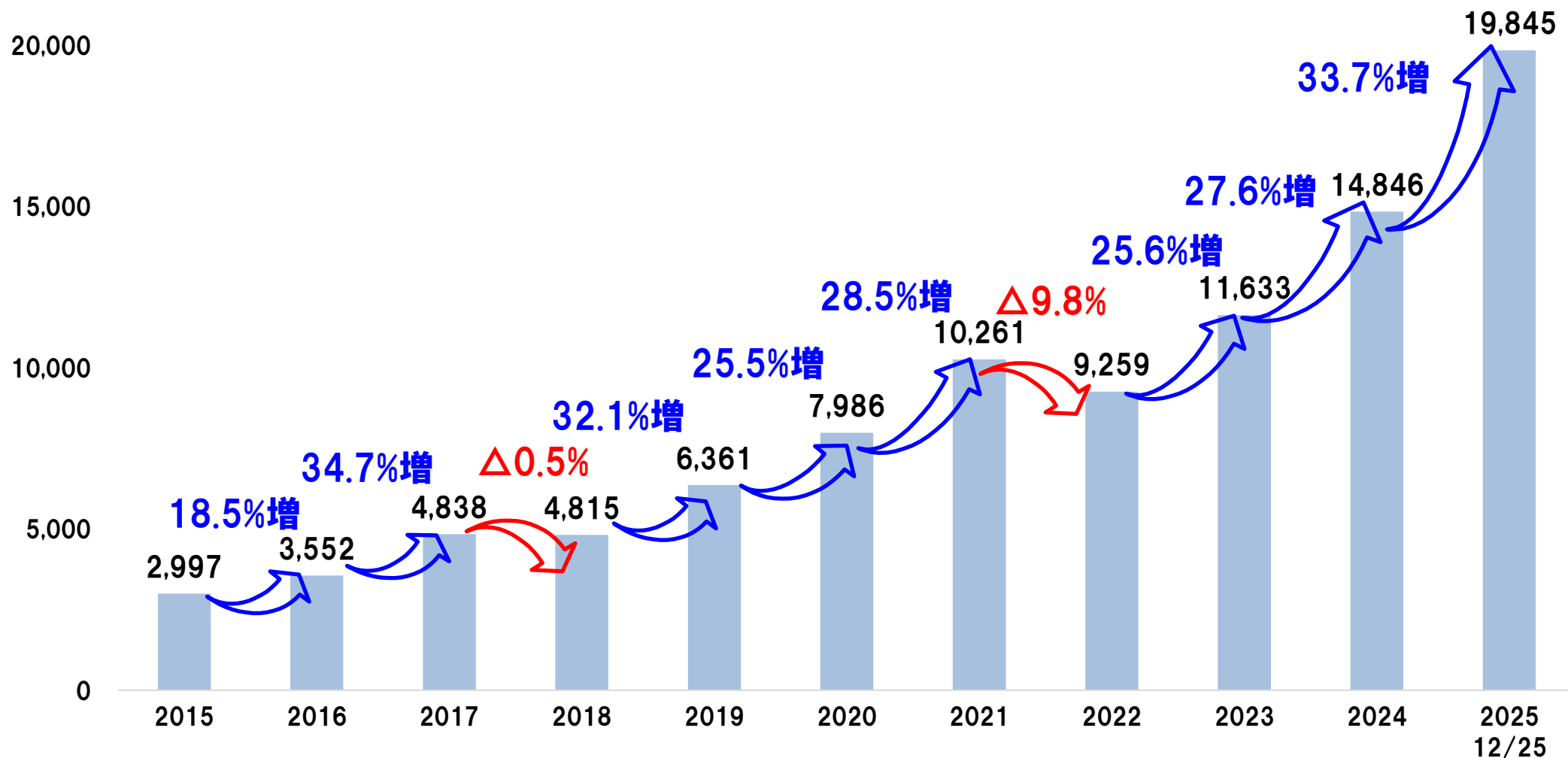


「次世代運用グループ」の確立に貢献

世界のETFの純資産残高推移

期間:2015年12月末～2025年12月25日

(単位:億ドル)





ALLIANCEBERNSTEIN®

② ETF・オルタナティブ・デジタル資産への展開

世界有数のアクティブ運用会社のアライアンス・バーンスタインとの合併で「ETF専門の運用会社」を設立

・アライアンス・バーンスタインの運用資産は約133兆円

・米国を中心に24本のETFを運用

Actively Managed ETF List

Our active ETFs are objective-oriented strategies that offer more choice for our investors.

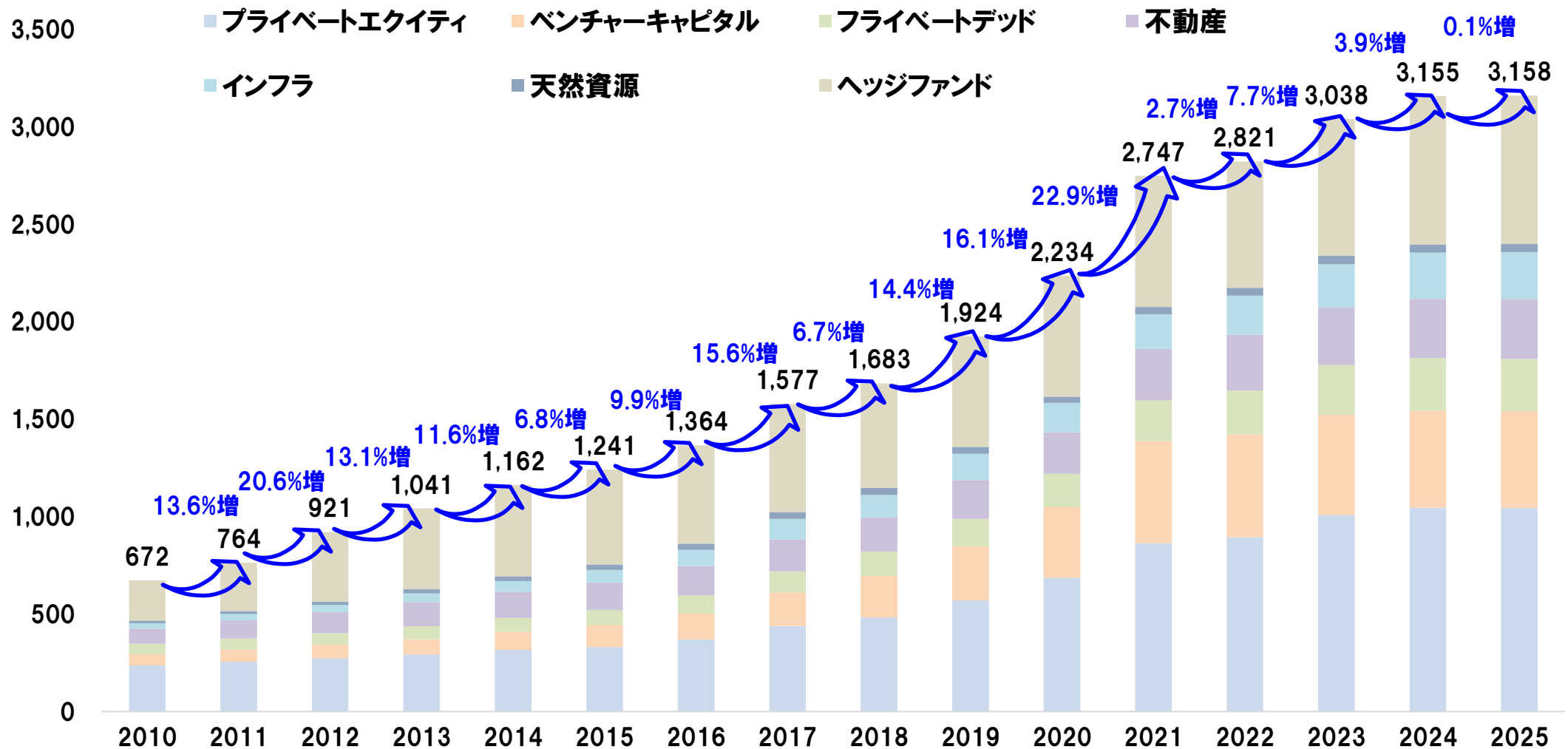
Fixed Income	Municipals	Equities	Alternatives
SYFI ETFs FIXED-INCOME AB Short Duration High Yield ETF An actively-managed, short-duration high-yield bond ETF that seeks to provide attractive income while aiming for less volatility than traditional high-yield approaches		HVFI ETFs FIXED-INCOME AB High Yield ETF An actively-managed US high-yield bond ETF that seeks to deliver a high level of income	
YEAR ETFs FIXED-INCOME AB Ultra Short Income ETF The Fund's investment objective is to provide current income, consistent with preservation of capital.		SDFI ETFs FIXED-INCOME AB Short Duration Income ETF An actively-managed, short-duration multi-sector bond ETF that seeks to provide attractive income across different market environments.	
EVEG ETFs FIXED-INCOME AB Corporate Bond ETF An actively managed investment grade corporate bond ETF that seeks to maximize total return through current income and long-term capital appreciation		CPLS ETFs FIXED-INCOME AB Core Plus Bond ETF An actively managed core-plus bond ETF that seeks to maximize total return through current income and long-term capital appreciation	

Name	Net Assets (\$MM)
AB International Low Volatility Eq ETF	1,585
AB Ultra Short Income ETF	1,461
AB Disruptors ETF	1,452
AB New York Intermediate Municipal ETF	1,296
AB California Intermediate Municipal ETF	1,120
AB Tax-Aware Short Dur Municipal ETF	1,114
AB Conservative Buffer ETF	1,006
AB Core Bond ETF	881
AB Short Duration High Yield ETF	872
AB US Large Cap Strategic Equities ETF	728

世界のオルタナティブ・プロダクトの資産残高推移

期間：2010年12月～2025年3月

(単位：兆円)



先進的なオルタナティブ商品の提供



プライベート
エクイティ

不動産ファンド

ヘッジファンド

KKR

プライベート・エクイティ
プライベート・エクイティ(バイアウト型)
プライベート・エクイティ(グロース型)
プライベートデット、クレジット
オポチュニスティック・クレジット(KKR旗艦ファンド)
バンクローン(欧米のバンクローン)
CLOエクイティ(欧米CLOのエクイティに特化)
プライベート・クレジット
(ダイレクト・レンディング等)

Man

	貸出債権投資による高インカム のプライベート商品
	米国ミドルマーケット(中堅企業 への貸出)に特化したダイレク ト・レンディングのプライベート・ クレジット商品

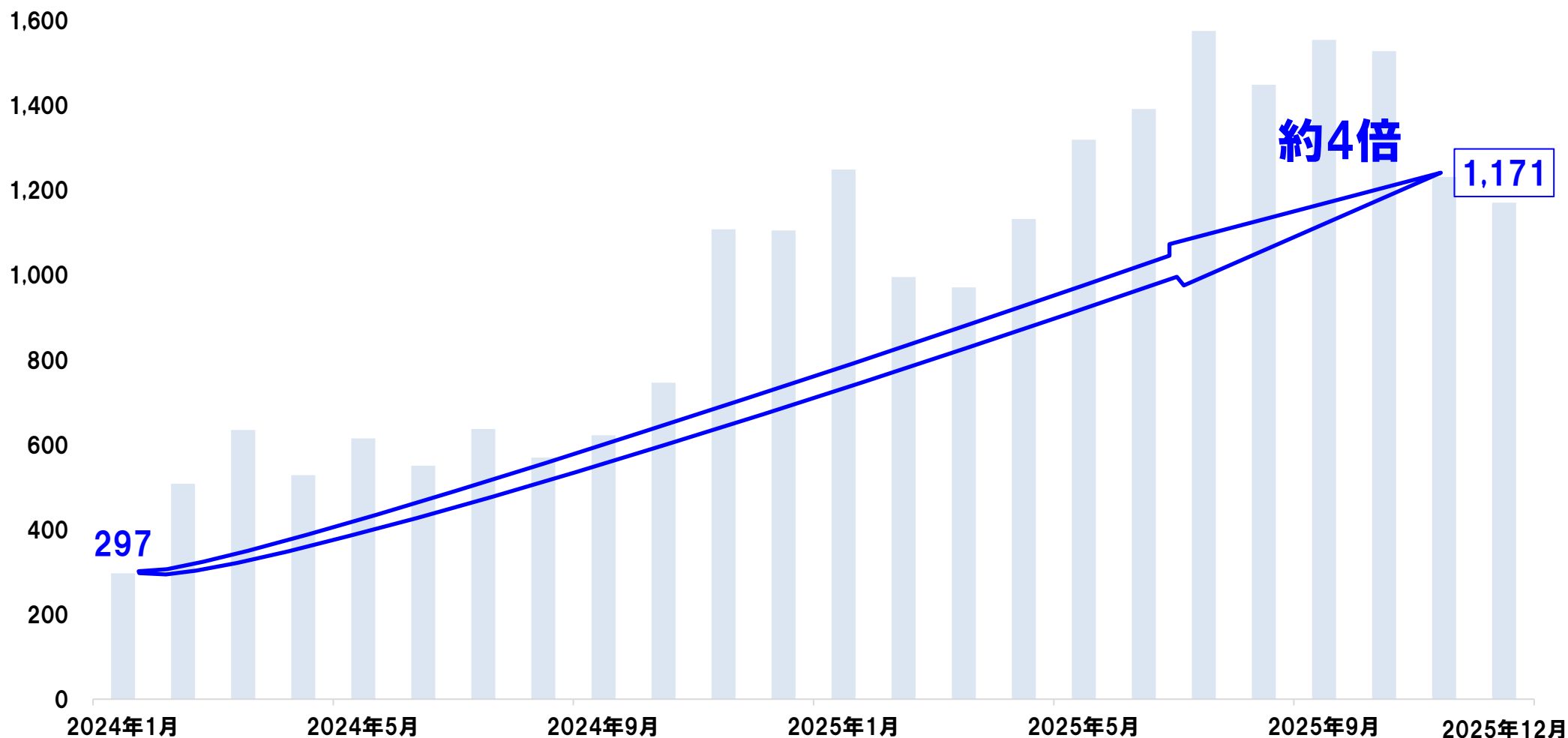


	＜アルセントラ＞ 欧州のプライベート・デット並び にバンクローン、CLOなどクレ ジット戦略
	＜ベネフィット・ストリート・パート ナーズ＞ 米国のプライベート・デット並び にクレジット戦略
	＜クラリオン・パートナーズ＞ 幅広いリスク/リターンにまたが るプライベート不動産戦略
	＜レキシントン・パートナーズ＞ プライベート・エクイティのセカン ダリー投資および共同投資の 運用マネージャー

米国上場の「暗号資産ETF」の純資産残高推移

期間：2024年1月～2025年12月

(単位：億ドル)



金商法改正・税制改正後に「暗号資産ETF・投信信託」の組成

国内上場の暗号資産ETF
(ビットコイン、XRP、イーサリアム等)

EZBC

Franklin Bitcoin ETF

XRPZ

Franklin XRP ETF

EZET

Franklin Ethereum ETF

暗号資産インデックスETF
(複数暗号資産)

SBI Global Asset Management

COINPOST

暗号資産インデックスの共同開発

EZPZ

Franklin Crypto Index ETF



「暗号資産ETF」に投資する「投資信託」を設定し、投資家が
定時定額の積み立て投資にも活用出来るようにする

多様なオンチェーン化の運用商品を開発し、 投資家の最適な資産形成を支える



商品企画・組成・運用

国内外株式

国債・社債

不動産

プライベート
エクイティ

プライベート
デット

IP
(映画・音楽・ゲーム・アニメ)

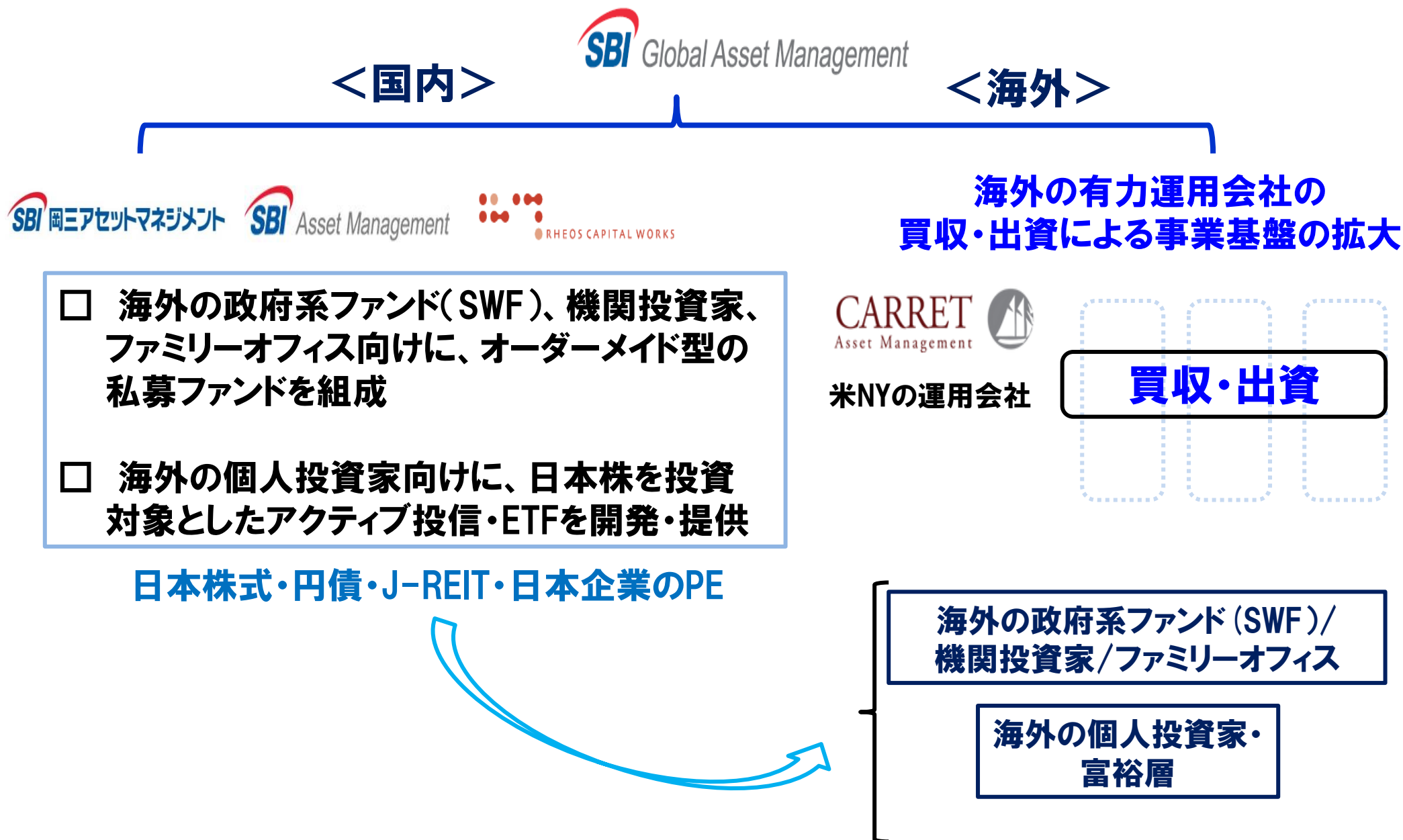


「あらゆる資産がオンチェーンに」

ブロックチェーンを基盤に、グローバルで開かれた市場

- ・取引時間は「24時間365日」
- ・国境を越えた参加が可能
- ・完全デジタルで透明性・効率性・流動性を最大化

海外資産の獲得と海外運用会社のM&Aの積極的展開



「次世代運用グループ」としての成長軌道 -運用残高20兆円突破は既に視野に-

(単位:10億円)

